

**添田町の 10 年後のありたい姿の検討に向けた
住民アンケート調査結果 報告書**

**令和元年 11 月
添田町**

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査手法	1
(5) 配布・回収状況	1
(6) 表記について	1
2. 調査結果の概要	2
(1) 添田町の暮らしについて	2
(2) 添田町のこれまでのまちづくりの評価について	3
(3) 添田町のこれからのまちづくりについて	4
3. 調査結果	6
(1) 添田町の暮らしについて	6
問1. 総合的にみて、添田町は住みよいところだと感じますか。	6
問2. 添田町の現状についてどのように感じていますか。	8
問3. 添田町で自慢したい“モノ”（特産品など）、“コト”（お祭り、イベントなど）、“場所”（社寺 仏閣、風景など）。	10
問4. これからも添田町に住み続けたいと思いますか。	11
問5. 添田町から転出するきっかけは何ですか。	12
(2) 添田町のこれまでのまちづくりの評価について	15
問6. 総合計画に基づく各施策に対してどのように感じていますか。	15
問7. 添田町で今後、最も力を入れていくべき施策は何ですか。	18
(3) 添田町のこれからのまちづくりについて	19
問8. あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。	19
問9. 生活に関係する様々な分野の満足の度合いについて、何点ですか。	19
問10. あなたは、10年後、添田町がどのようになっていたらよいと思いますか。	21
問11. 添田町の今後のまちづくりの方向性として考えに最も近いものは何ですか。	23
問12. 町長だとしたら、10年後の添田町に向けて、真っ先に取り組むことは何ですか。	25
(4) 町の将来人口を推計するための設問について	26
問13. あなたは「結婚」していますか。	26
問14. 「結婚」についての意向	26
問15. 何歳ぐらいで結婚したいですか。	27
問16. 現在、あなたには何人のお子さまがいらっしゃいますか。	28
問17. 理想とする子どもの数は何人ですか。	28
問18. 「理想とする子どもの数」と現実の間にギャップはありますか。	29
(5) あなたご自身のことについて	30
問19. あなたご自身のことについて、お答えください。	30
①性別	30
②年齢	30
③行政区	31
④居住歴	32
⑤同居の有無	32
⑥居住形態	33
⑦就業状態	34
⑧勤務地または就学地	35
(6) 巻末資料	36
①問3 意見一覧	36
②問12 意見一覧	44

1. 調査概要

(1) 調査の目的

- ・現在、わが国では、人口減少がはじまっており、今後は、今以上に人口が減少していくことが予想されている。
- ・添田町においても、将来的に、人口が減少していくものと見込まれる中、町では町民の生活の質を高めるべく、様々な取り組みを進めている。
- ・今回、添田町の最上位計画である「総合計画」の計画期間が令和2年度に終了することから、添田町の10年後のありたい姿の検討に向けて、広く町民の意見、意向を把握することを目的に、アンケート調査を実施する。

(2) 調査対象

- ・18歳以上の添田町民から無作為抽出により約1,000人を抽出。

(3) 調査期間

- ・令和元年10月1日(火)～令和元年10月17日(木)
※10月31日到着分まで有効とした

(4) 調査手法

- ・郵送により調査票を配布し、同封の返信用封筒にて回収。

(5) 配布・回収状況

配布数	不達分	回収数	回収率
1,052	8	271	26.0%

(6) 表記について

- ・表及びグラフ中の「SA」は単数回答、「MA」は複数回答 「n」は母数を示す。
- ・クロス集計表の色分けについては、下記の通り。

問10	総計 (N=269)	男性 (N=98)	女性 (N=153)	25歳未満 (N=43)	25～49歳 (N=71)	50～64歳 (N=60)	65歳以上 (N=65)	
1. 添田町の農業や林業を活かして、起業する人が生まれている	29.4%	29.6%	30.3%	30.2%	28.2%	30.0%	43.1%	総計の値よりも+10%
2. 添田町の農産物を使った食事や飲料を提供するカフェ・レストランが増えている	32.7%	28.6%	34.8%	41.9%	43.7%	31.7%	30.8%	総計の値よりも+5%
3. 英彦山を中心に今まで以上に国内だけでなく、海外からの観光客が訪れている	28.6%	31.6%	26.5%	27.9%	23.9%	35.0%	41.5%	総計の値よりも-5%
4. 公共施設等が定期的に修繕され、古くても快適に使用できている	24.9%	21.4%	26.5%	18.6%	33.8%	23.3%	32.3%	総計の値よりも-10%
5. 子どもから高齢者までがお互いに尊重し、支え合っている	39.0%	29.6%	43.9%	34.9%	38.0%	33.3%	66.2%	
6. 他者を思いやり、日本人、外国人を問わず困っている人を助けられる人が増えている	19.3%	20.4%	18.1%	27.9%	14.1%	16.7%	30.8%	
7. 健康で元気に暮らしている人が増えている	43.1%	41.8%	41.9%	32.6%	39.4%	43.3%	73.8%	
8. 添田町に縁のある人や添田町が好きの人が、地域活動等に関わっている	15.2%	21.4%	12.3%	18.6%	15.5%	11.7%	23.1%	
9. 添田町の情報が頻繁に発信され、町の取り組みが良く分かるようになっている	24.9%	26.5%	22.6%	16.3%	22.5%	28.3%	41.5%	
10. その他	9.7%	9.2%	9.7%	14.0%	12.7%	13.3%	4.6%	

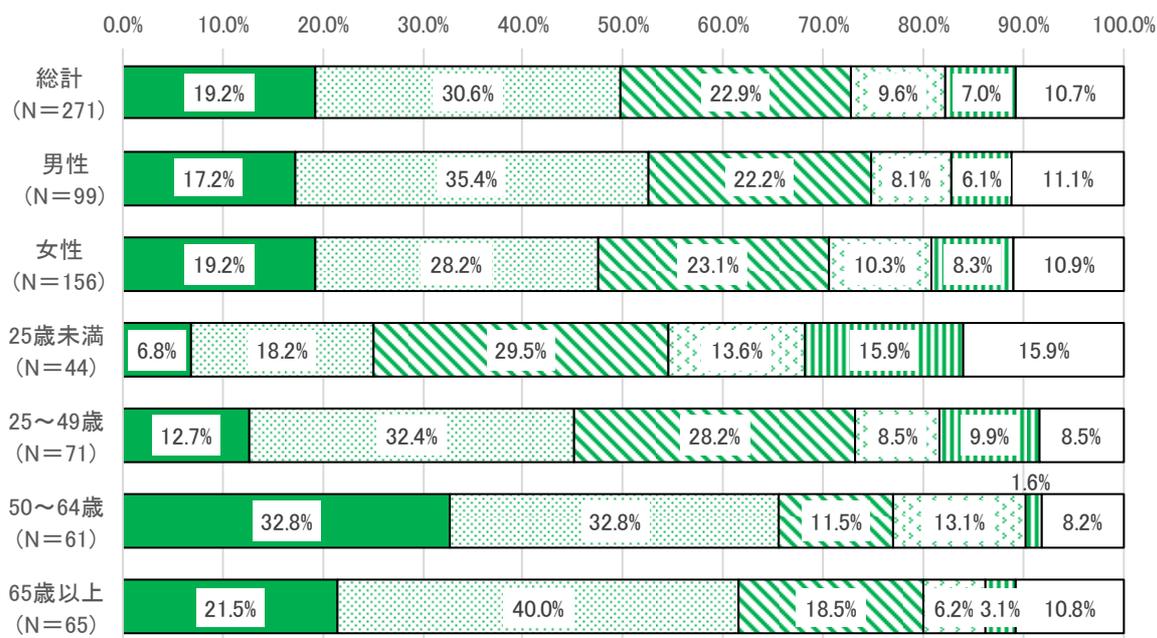
2. 調査結果の概要

(1) 添田町の暮らしについて

○総合的には住みやすいと感じる人が多いが、交通面、活気・賑わいの面では不満を感じている

- ・総合的にみて、添田町は住みよいと感じている人は約半数を占める
- ・まちの現状については、7割以上が自然環境に恵まれているとする一方で、同じく7割以上が福岡市や北九州市からの遠さや、交通の便が悪いと感じている。
- ・添田町で自慢したいモノ、コト、場所については、英彦山が最も多く、次いで自然の良さ・豊かさ、夏祭り（花火大会）であった。英彦山は英彦山神宮も含めると、全体の1/4以上の意見を占める
- ・定住意向を尋ねたところ、「これからも住み続けたい」が4割以上を占めた。しかし、「わからない」も3割以上あり、現段階で「町外に転出したい（予定がある）」は約2割である。年齢が若いほど「町外に転出したい（予定がある）」の割合が高い。転出するきっかけは、仕事の都合を理由とする人が多くみられた。

【図：住みやすさについてのクロス集計】



- 1. 住みやすい
- 2. どちらかといえば住みやすい
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば住みにくい
- 5. 住みにくい
- 不明・無回答

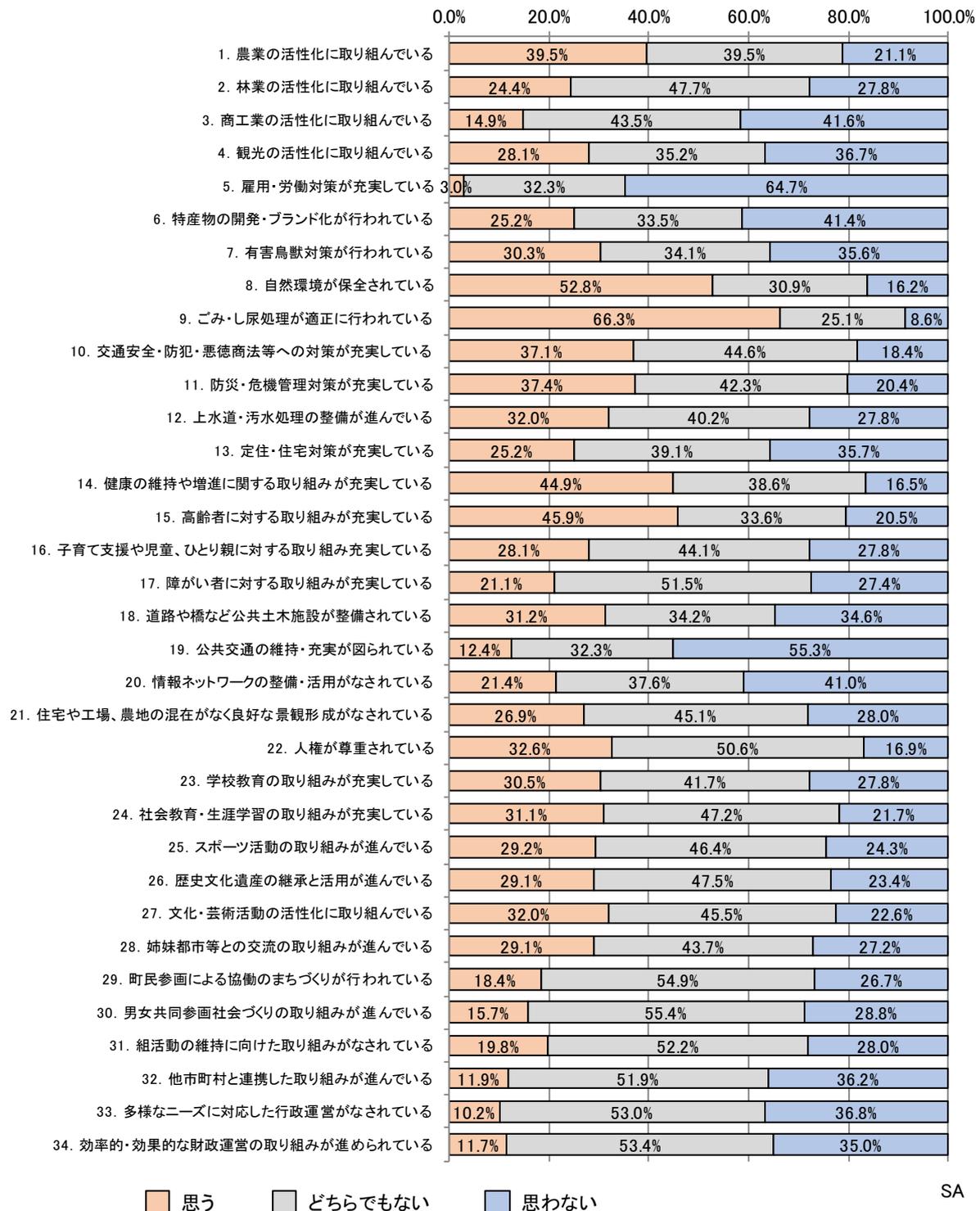
SA

(2) 添田町のこれまでのまちづくりの評価について

○「ごみ・し尿処理」や「自然環境の保全」に対する評価は高いが、「雇用・労働対策」や「公共交通の維持・充実」に対する評価は低い

- ・総合計画に基づく各施策については、「ごみ・し尿処理」や「自然環境の保全」に対する評価は高いものの、「雇用・労働対策」や「公共交通の維持・充実」に対する評価は低い。
- ・今後、最も力を入れていくべき施策は、「雇用・労働対策」の割合が最も高く 28.8%、次いで「公共交通の維持・充実」が 23.2%、「観光の活性化」が 18.8%である。

【図：現総合計画に基づく各施策の評価（思う・思わない割合※不明・無回答を除く）】



SA

(3) 添田町のこれからのまちづくりについて

○年齢層によって 10 年後の町の姿やまちづくりの方向性にバラツキが見られるが、「健康」や「観光」は共通

- ・現在の生活全体や、生活に関する様々な分野の満足度を「非常に満足している」を 10 点、「全く満足していない」を 0 点として尋ねたところ、生活全体については、5.2 点であった。分野別では、「生活を取り巻く空気や水などの自然環境」の満足度が最も高く 6.9 点、逆に「道路や鉄道、路線バスなど移動のしやすさ」は最も低く 2.4 点であった。
- ・全体的に、50 歳未満は満足度が低く、50 歳以上は満足度が高い傾向が見られた。
- ・10 年後の添田町の姿については、「健康で元気に暮らしている人が増えている」の割合が最も高く 4 割以上を占めた。次いで「子どもから高齢者までがお互いに尊重し、支え合っている」が約 4 割、「添田町の農産物を使った食事や飲料を提供するカフェ・レストランが増えている」が約 3 割であった。
- ・今後のまちづくりの方向性としては、「高齢になっても今の住まいで住み続けられる仕組みづくりを進める」の割合が最も高く半数以上を占めた。次いで、「起業支援や企業誘致により町内の雇用を創出する」が 4 割以上、「英彦山を中心とした観光商品の開発を進め、国内外からの来訪客誘致を図る」が約 4 割であった。ただし、年齢層によってバラツキがみられる。

【図：10 年後の添田町の姿についてのクロス集計】

問10 総計の割合が高いもの順で並び替え	総計 (N=271)	男性 (N=99)	女性 (N=156)	25歳未満 (N=44)	25~49歳 (N=71)	50~64歳 (N=61)	65歳以上 (N=65)
7. 健康で元気に暮らしている人が増えている	43.2%	42.4%	42.3%	31.8%	39.4%	44.3%	53.8%
5. 子どもから高齢者までがお互いに尊重し、支え合っている	39.5%	30.3%	44.2%	36.4%	38.0%	34.4%	47.7%
2. 添田町の農産物を使った食事や飲料を提供するカフェ・レストランが増えている	32.8%	28.3%	35.9%	43.2%	43.7%	31.1%	13.8%
1. 添田町の農業や林業を活かして、起業する人が生まれている	29.2%	29.3%	30.1%	29.5%	28.2%	29.5%	30.8%
3. 英彦山を中心に今まで以上に国内だけでなく、海外からの観光客が訪れている	28.4%	31.3%	26.9%	27.3%	23.9%	34.4%	29.2%
4. 公共施設等が定期的に修繕され、古くても快適に使用できている	25.1%	21.2%	27.6%	20.5%	33.8%	23.0%	23.1%
9. 添田町の情報が頻繁に発信され、町の取り組みが良く分かるようになってきている	24.7%	26.3%	22.4%	15.9%	22.5%	27.9%	26.2%
6. 他者を思いやり、日本人、外国人を問わず困っている人を助けられる人が増えている	19.2%	20.2%	18.6%	27.3%	14.1%	16.4%	18.5%
8. 添田町に縁のある人や添田町が好きの人が、地域活動等に関わっている	15.1%	21.2%	12.2%	18.2%	15.5%	11.5%	21.5%
10. その他	10.0%	10.1%	10.3%	13.6%	12.7%	14.8%	0.0%

【図：まちづくりの方向性についてのクロス集計】

問11 総計の割合が高いもの順で並び替え	総計 (N=271)	男性 (N=99)	女性 (N=156)	25歳未満 (N=44)	25~49歳 (N=71)	50~64歳 (N=61)	65歳以上 (N=65)
6. 高齢になっても今の住まいで住み続けられる仕組みづくりを進める	51.3%	41.4%	57.1%	43.2%	43.7%	45.9%	67.7%
4. 起業支援や企業誘致により町内の雇用を創出する	45.4%	48.5%	44.2%	40.9%	33.8%	39.3%	60.0%
2. 英彦山を中心とした観光商品の開発を進め、国内外からの来訪客誘致を図る	36.2%	40.4%	31.4%	34.1%	35.2%	37.7%	35.4%
1. 農産品・農産加工品のブランド化や国内外への販路開拓・拡大を促す	28.4%	26.3%	30.1%	38.6%	28.2%	19.7%	30.8%
9. 定住促進住宅の確保や就労支援により町外からの人口流入を促進する	27.7%	30.3%	27.6%	13.6%	35.2%	32.8%	26.2%
5. 英彦山の豊かな自然環境を活かした教育を行う	22.9%	18.2%	26.9%	22.7%	32.4%	24.6%	13.8%
3. 英彦山や国指定重要文化財の中島家住宅など、歴史文化に着目した取り組みを行う	13.7%	17.2%	12.8%	15.9%	16.9%	21.3%	6.2%
7. 集落の維持や集落間の連携に向けた活動を支援する	12.5%	17.2%	9.0%	20.5%	9.9%	8.2%	12.3%
8. 町民参画による協働のまちづくりを徹底する	9.6%	14.1%	5.1%	6.8%	11.3%	6.6%	10.8%
10. その他	5.9%	7.1%	5.1%	4.5%	9.9%	4.9%	1.5%

(4) まとめ

○英彦山や英彦山に関連する資源、自然環境を活かす

- ・今回のアンケート調査結果からは、英彦山や英彦山に関連する資源を自慢したいとの意見が多数を占めた。また、自然環境に対する満足度も非常に高い。これら資源は、添田町固有の資源であり、積極的に活かしていくことが重要である。
- ・特に、近年は幅広い世代で登山やキャンプへの関心が高まっている。また、アジアからのインバウンド客の伸びが鈍化する中で、新たなターゲットとして欧米豪の拡大に向けた施策が、九州の各県で進められようとしている。欧米豪は、日本の歴史や文化、自然への感度が高い。
- ・英彦山を中心として、自然を活かしたアクティビティに興味・関心の高い層や、欧米訪日リピーター層をターゲットとした施策を打ち出していくことが考えられる。

○農産品・農産加工品×飲食・観光

- ・10年後の添田町の姿や、今後のまちづくりの方向性において、農産品や農産加工品をもっと活かしていくとの意見が多くあった。
- ・今は、道の駅を中心にそれらを購入することは出来るが、道の駅以外となると特に観光等で訪れた方にとっては選択肢がないような状況である。
- ・添田町＝英彦山のイメージが強く、それ以外の要素が隠れがちである。金の原の大根や白菜、柚子ごしょう、しいたけ、山女魚など、添田の美味しい食を積極的に発信し、それらを目当てに訪れる人を増やしていくことが考えられる。

○今あるもの組み合わせで取り組みを考える

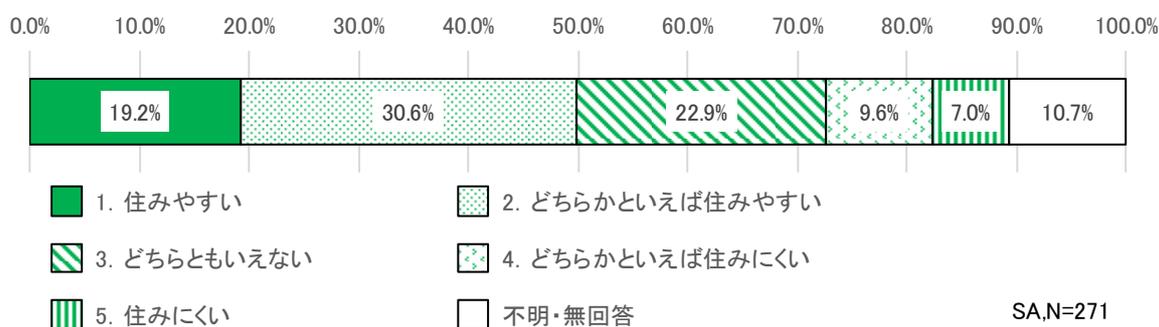
- ・今後、最も力を入れていくべき施策として「雇用・労働対策」や「公共交通の維持・充実」との意見が多くあった。背景には、人口減少が進む要因として「働く場所がない」ことや「交通の便が悪い」ことだと考える方が多いと推察される。実際に、このアンケート調査とは、別に町が転出者に対して独自に行ったアンケート調査結果（平成28年～30年計160人）からは、転出理由として仕事の都合とする方が半数以上を占めた。
- ・国を挙げて進めている地方創生においても、雇用創出は一つの柱となっている。また、添田町をはじめ、過疎地域において人々の移動手手段の確保・充実は生活していくためにも欠かすことができない。
- ・しかし、その全てを行政だけで進めていくには人材面、財政面からも既に限界にきている。企業誘致、公共交通の維持といっても直ぐに実現するものではないし、町民、添田ファンの協力なしには不可能である。それならば、まずは、町民、添田ファンを巻き込んで、今あるものの中で何ができるかを検討する場を設けることが考えられる。

3. 調査結果

(1) 添田町の暮らしについて

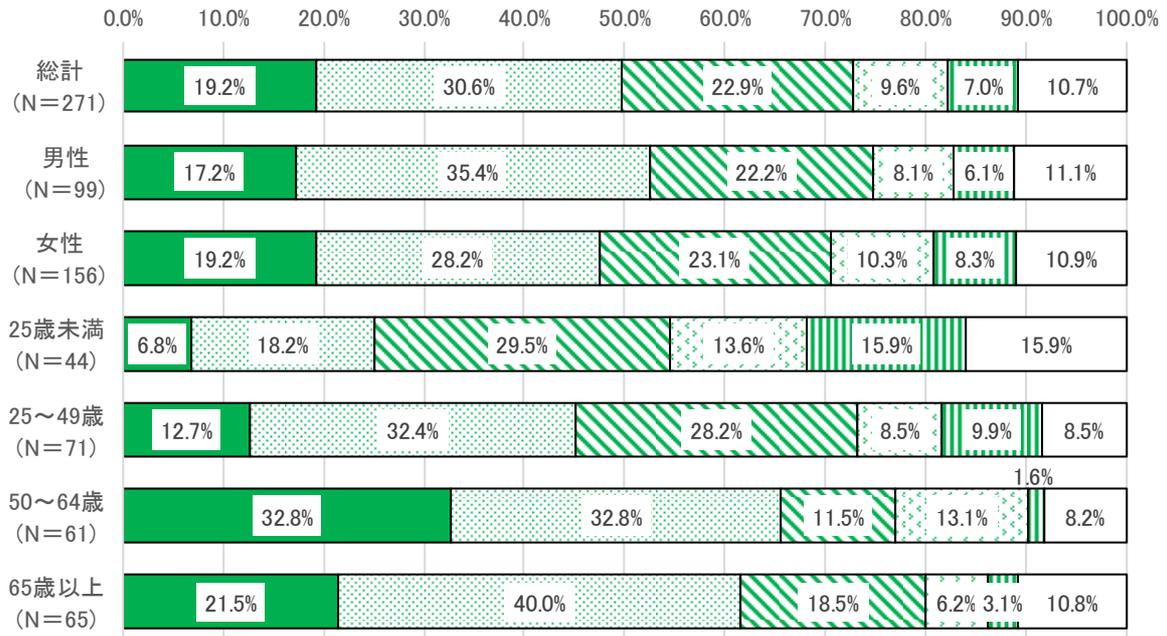
問1. 総合的にみて、添田町は住みよいところだと感じますか。

- ・添田町の住みよさについては、「どちらかといえば住みやすい」の割合が最も高く 30.6%、次いで「どちらともいえない」が 22.9%、「住みやすい」が 19.2%である。
- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせて「住みやすい」は 49.8%、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせて「住みにくい」は 16.6%であり、「住みやすい」と感じている人が多い。
- ・性別でみると、大きな差は見られないが「男性」の方が「どちらかといえば住みやすい」の割合が高い。
- ・年齢別にみると、年齢が若いほど「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」の割合が高く、25歳未満ではそれぞれ 13.6%、15.9%である。



問1	回答数	割合
1. 住みやすい	52	19.2%
2. どちらかといえば住みやすい	83	30.6%
3. どちらともいえない	62	22.9%
4. どちらかといえば住みにくい	26	9.6%
5. 住みにくい	19	7.0%
不明・無回答	29	10.7%
総計	271	100.0%

【クロス集計】

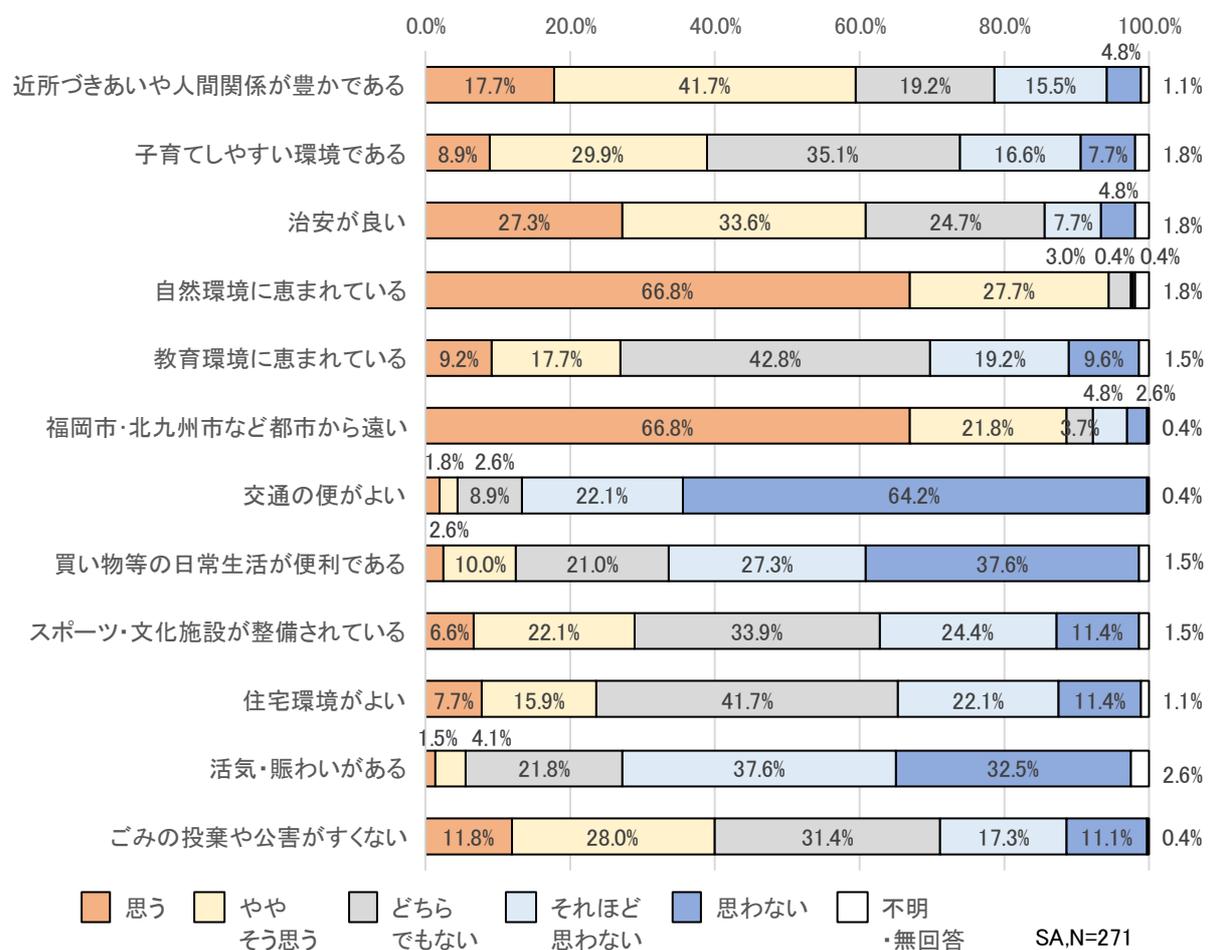


- 1. 住みやすい
- 2. どちらかといえば住みやすい
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば住みにくい
- 5. 住みにくい
- 不明・無回答

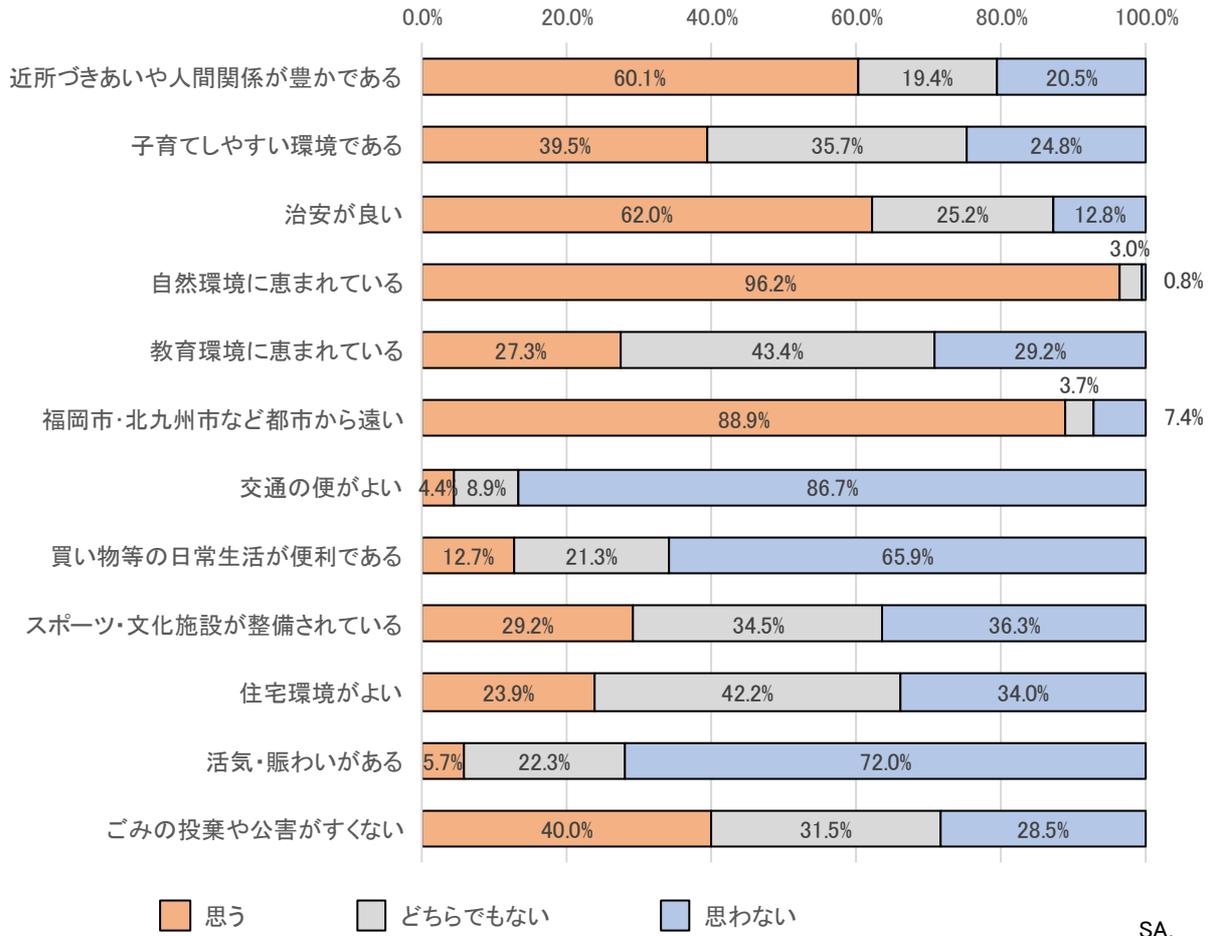
SA

問2. 添田町の現状についてどのように感じていますか。

- ・添田町の現状について、12の項目を尋ねたところ、「思う」の割合が最も高いのは、「自然環境に恵まれている」と「福岡市・北九州市など都市から遠い」で66.8%であり、この2つの項目が他の項目を大きく引き離している。
- ・一方、「思わない」の割合が最も高いのは、「交通の便がよい」で64.2%であり、他の項目を大きく引き離している。次いで、「買い物等の日常生活が便利である」が37.6%、「活気・賑わいがある」が32.5%である。
- ・「思う」と「ややそう思う」を合わせて「思う」の割合が最も高いのは、「自然環境に恵まれている」で94.6%、次いで「福岡市・北九州市など都市から遠い」が88.6%、「治安が良い」が60.9%、「近所づきあいや人間関係が豊かである」が59.4%である。
- ・「それほど思わない」と「思わない」を合わせて「思わない」の割合が最も高いのは、「交通の便がよい」で86.3%、次いで「活気・賑わいがある」が70.1%、「買い物等の日常生活が便利である」が64.9%である。



【参考：思う・思わない割合（母数には不明・無回答を除く）】



SA,

※母数から不明・無回答を除いているため、前頁のグラフの数値と一致しない

問3. 添田町で自慢したい“モノ”(特産品など)、“コト”(お祭り、イベントなど)、“場所”(社寺仏閣、風景など)。

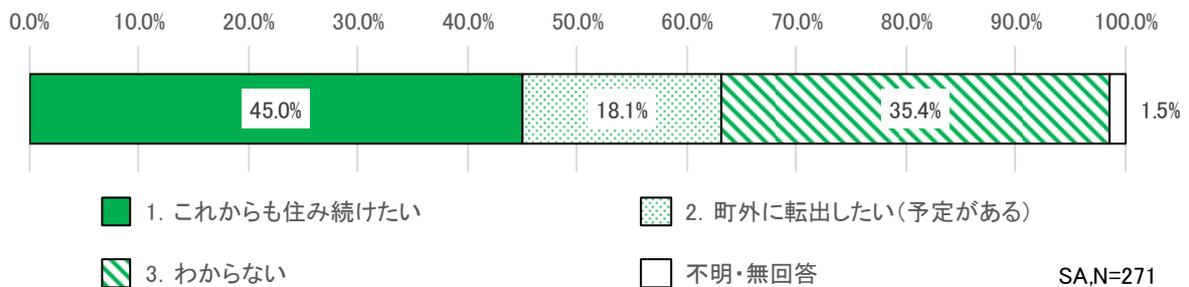
- ・添田町で自慢したいモノ、コト、場所については、全部で 385 件の意見があった。その中で、「英彦山」が最も多く 86 件、次いで「自然の良さ・豊かさ」が 39 件、「夏祭り(花火大会)」が 32 件である。

小見出し	意見数	小見出し	意見数
総計	385	サイクルトライアル	5
英彦山	86	子育て環境	5
自然の良さ・豊かさ	39	川	5
夏祭り(花火大会)	32	オークホール	4
英彦山神宮(英彦山神社)	23	歴史・文化	4
農産物(米・野菜)	14	ジビエ	3
ゆずごしょう	12	社寺仏閣	3
ふるさと祭り	12	人情	3
添田公園	12	クアハウス	2
めんべい	10	かけ上がり大会	2
岩石城(山)	9	高住神社	2
神幸祭	8	諏訪神社	2
勧遊舎	8	星空	2
その他お祭り・イベント	8	その他	22
風景	7	特になし	27
その他特産品	7		
水	7		

※詳細は巻末に記載

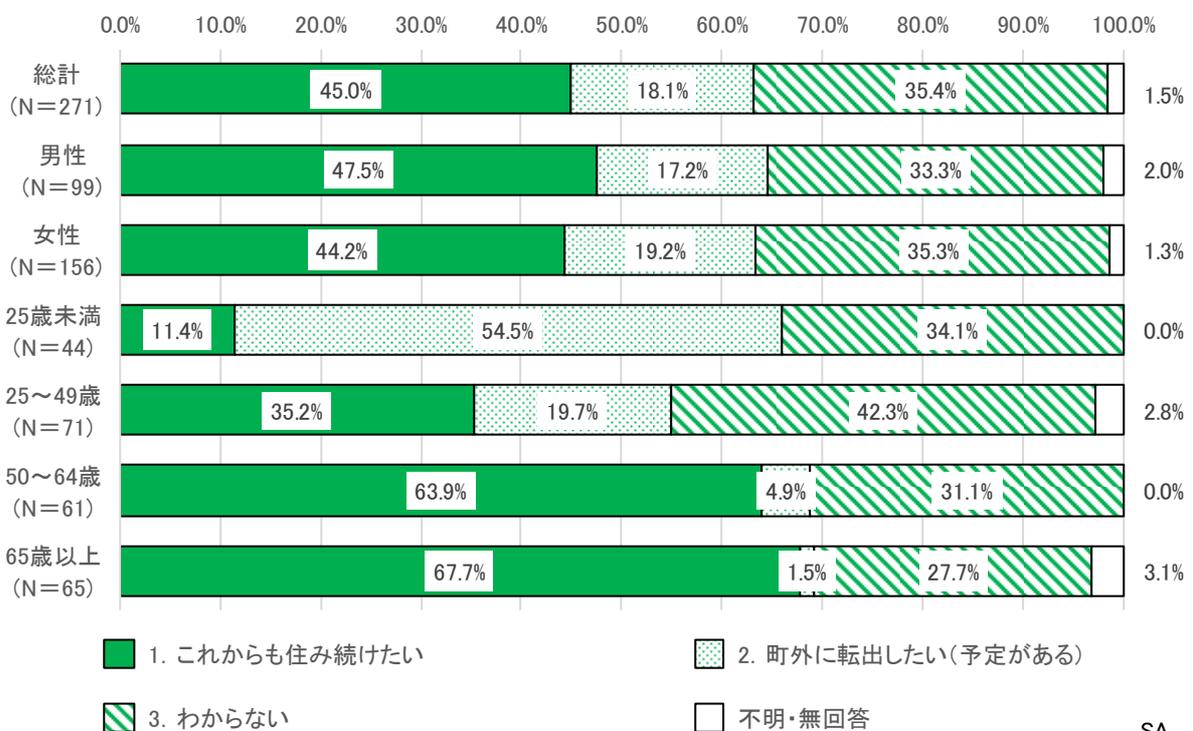
問4. これからも添田町に住み続けたいと思いますか。

- ・今後の居住意向については、「これからも住み続けたい」の割合が最も高く 45.0%、次いで「わからない」が 35.4%、「町外に転出したい（予定がある）」が 18.1%である。
- ・性別にみると、性別で大きな傾向に差はない。
- ・年齢別にみると、「25歳未満」では、「町外に転出したい（予定がある）」が半数以上を占める。「25～49歳」では、「わからない」が4割以上を占める。



問4	回答数	割合
1. これからも住み続けたい	122	45.0%
2. 町外に転出したい（予定がある）	49	18.1%
3. わからない	96	35.4%
不明・無回答	4	1.5%
総計	271	100.0%

【クロス集計】



問5. 添田町から転出するきっかけは何ですか。

・問4で「町外に転出したい（予定がある）」と回答した49人を対象に、「転出のきっかけ」について尋ねたところ、「その他」が最も多く18人、次いで「あなた（夫婦）の仕事の都合」が14人であった。

問5	回答数	割合
1. あなた（夫婦）の仕事の都合	14	28.6%
2. 親（子）の仕事の都合	0	0.0%
3. あなたの学校の都合	5	10.2%
4. 子どもの学校の都合	2	4.1%
5. 住宅の取得（新築・相続等）	2	4.1%
6. 結婚のため	2	4.1%
7. 出産や療養に伴う一時的な転出	0	0.0%
8. 親などの介護のため	1	2.0%
9. 親や子ども、その他の親族との同居・近居・別居のため	4	8.2%
10. その他	18	36.7%
不明・無回答	1	2.0%
総計	49	100.0%

【その他】(記入があったもの)

- ・一人暮らしをするため
- ・交通の便が悪すぎる。高速道路がない。私にとって住み続けるメリットがない。
- ・将来は都会に住みたい
- ・何もないから
- ・就職
- ・人口減少していくと老後に不安がある
- ・一人暮らしの生活（老後）は極めて難しいから
- ・学校の都合、就職したいところが近くにない。

【参考：転出者アンケート結果について】

- ・添田町では転出者について、転出理由等を把握するためのアンケート調査を実施している。
- ・以下では、平成28年から30年までの結果（回答者数の計160人）について整理している。

1) 回答者の性別

○160人中男性が74人、女性が83人で、女性が若干多い

	H28	H29	H30	合計	割合
男	29	13	32	74	46.3%
女	22	25	36	83	51.9%
無記入	1	2	0	3	1.9%
総計	52	40	68	160	100.0%

2) 回答者の年代

○20代が41.3%、次いで30代が18.1%、40代が13.8%で続く。20代～40代で全体の7割以上を占める

	H28	H29	H30	合計	割合
10代	1	0	6	7	4.4%
20代	21	15	30	66	41.3%
30代	6	13	10	29	18.1%
40代	8	3	11	22	13.8%
50代	6	3	4	13	8.1%
60代	7	3	4	14	8.8%
70代以上	3	3	3	9	5.6%
無記入	0	0	0	0	0.0%
総計	52	40	68	160	100.0%

3) 転出先のお住まいの地域

○県外と福岡地区が約2割、次いで田川市が17.5%、その他の筑豊地域が14.4%で続く
北九州地区よりも福岡地区の方が多い

	H28	H29	H30	合計	割合
田川市	12	4	12	28	17.5%
大任町	1	1	8	10	6.3%
赤村	0	0	0	0	0.0%
川崎町	1	2	2	5	3.1%
香春町	0	1	4	5	3.1%
糸田町	0	0	0	0	0.0%
福智町	4	0	1	5	3.1%
他の筑豊地域	10	8	5	23	14.4%
北九州地区	5	1	11	17	10.6%
福岡地区	11	12	9	32	20.0%
筑後地区	0	1	1	2	1.3%
県外	8	10	15	33	20.6%
無記入	0	0	0	0	0.0%
総計	52	40	68	160	100.0%

4) 家族構成

○単身、夫婦のみ、親と同居の2世代が各2割で7割近くを占める

	H28	H29	H30	合計	割合
単身世帯	15	9	16	40	25.0%
夫婦のみ	14	8	16	38	23.8%
子と同居の2世代世帯	8	7	9	24	15.0%
親と同居の2世代	7	8	17	32	20.0%
3世代以上の世帯	5	6	8	19	11.9%
その他	0	0	0	0	0.0%
無記入	3	2	2	7	4.4%
総計	52	40	68	160	100.0%

5) お子さんがいる場合はその状況をお答えください(複数回答可)

○就学前が36.7%、次いで小学校が26.5%、社会人・アルバイトなどが24.5%

※母数から無記入を除いた数を分母としている

	H28	H29	H30	合計	割合
就学前	4	7	7	18	36.7%
小学校	4	2	7	13	26.5%
中学校	3	1	2	6	12.2%
高等学校	3	0	3	6	12.2%
大学・専門学校	3	1	0	4	8.2%
社会人・アルバイトなど	3	2	7	12	24.5%
その他	0	1	1	2	4.1%
無記入	35	27	49	111	

6) 添田町を転出することになったきっかけ(複数回答可)

○仕事の都合が半数以上で他の項目を大きく引き離す。次いで自分・家族の結婚が約2割

	H28	H29	H30	合計	割合
仕事の都合	27	26	28	81	50.6%
学業の都合	5	3	3	11	6.9%
自分・家族の結婚	11	3	16	30	18.8%
家族の介護	1	0	0	1	0.6%
親・子との同居・近居	3	5	7	15	9.4%
持ち家を購入	4	4	1	9	5.6%
子育て環境の不安	1	1	1	3	1.9%
生活基盤の不満	0	1	1	2	1.3%
災害の不安	1	1	0	2	1.3%
交通の便が悪い	4	3	4	11	6.9%
買物が不便	4	3	1	8	5.0%
教育環境に不満	0	1	0	1	0.6%
図書館・公民館等に不満	0	1	0	1	0.6%
その他	4	2	9	15	9.4%
無記入	1	1	5	7	4.4%

7) 転出先のお住まいの地域を選ぶ際に重視したこと(3つまで)

○買い物などの日常生活が便利と交通の利便性が良いが約3割。

次いで親・子の同居・近居が続く

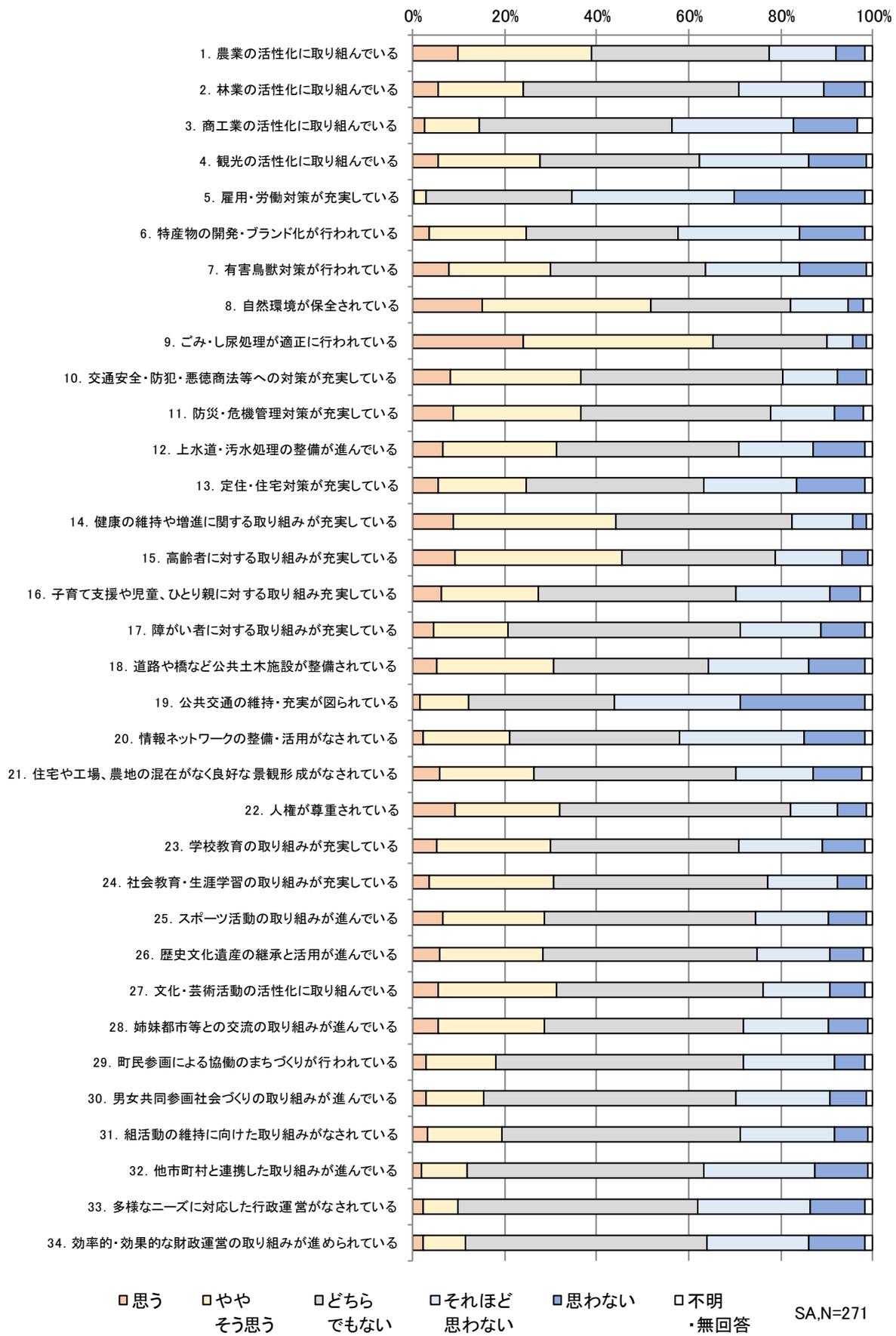
	H28	H29	H30	合計	割合
親・子との同居・近居	9	7	10	26	16.3%
地価・建物価格の住宅事情が良い	6	5	8	19	11.9%
子育て環境が良い	5	3	4	12	7.5%
犯罪や事故が少ない	3	2	2	7	4.4%
自然災害が少ない	2	4	1	7	4.4%
道路などの生活基盤が整っている	2	2	3	7	4.4%
交通の利便性が良い	19	10	15	44	27.5%
買い物などの日常生活が便利	13	15	18	46	28.8%
教育環境が良い	4	3	4	11	6.9%
医療が充実している	3	3	2	8	5.0%
公共施設が充実している	3	5	3	11	6.9%
仕事の求人が多い	6	7	2	15	9.4%
特になし	5	7	10	22	13.8%
その他	5	2	12	19	11.9%
無記入	5	2	7	14	8.8%

(2) 添田町のこれまでのまちづくりの評価について

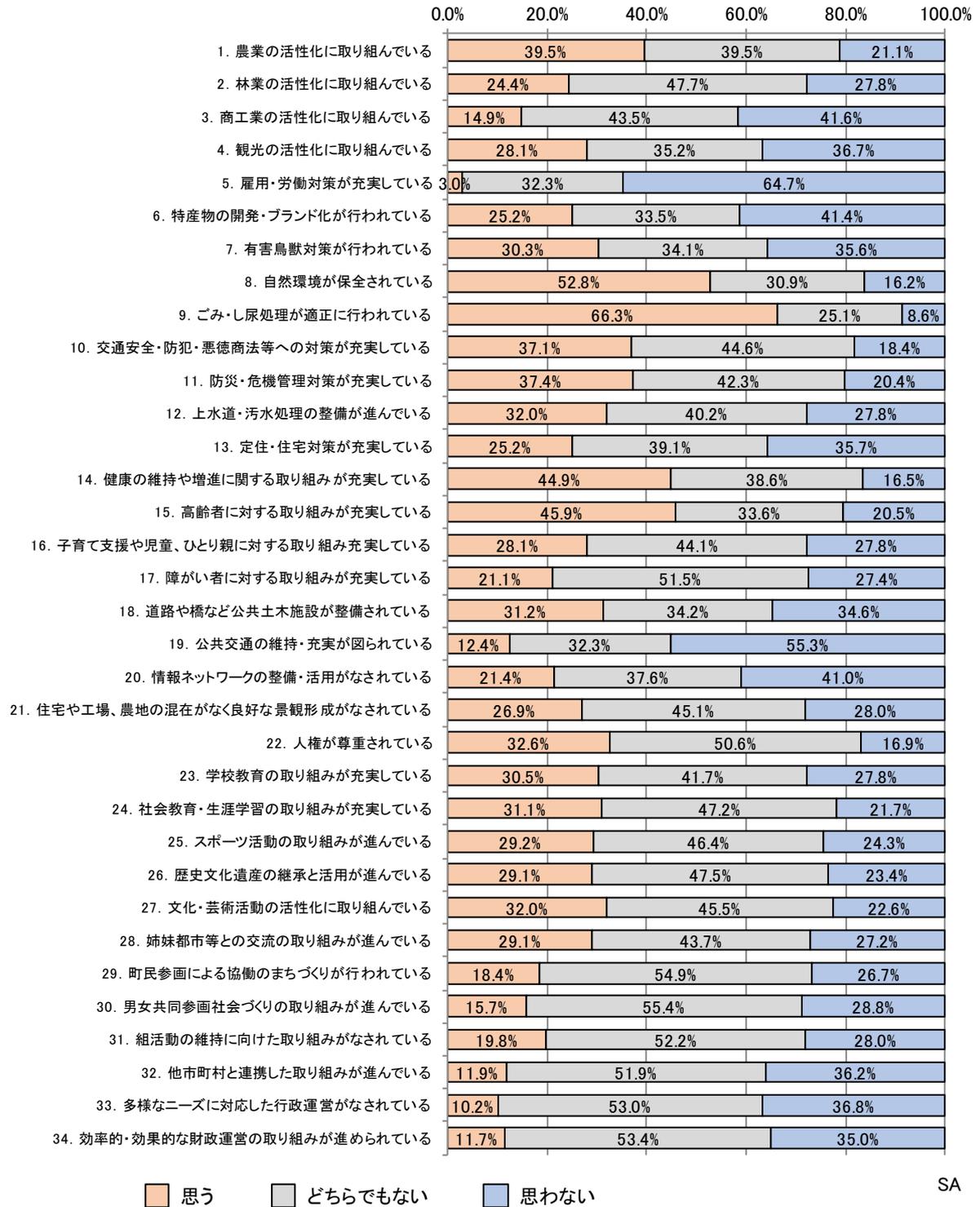
問6. 総合計画に基づく各施策に対してどのように感じていますか。

- ・現総合計画に記載のある 34 施策について尋ねたところ、「思う」の割合が最も高いのは、「ごみ・し尿処理が適正に行われている」で 24.0%、次いで「自然環境が保全されている」が 15.1%、「農業の活性化に取り組んでいる」が 10.0%である。この 3 つの項目が 1 割を超えている。
- ・一方、「思わない」の割合が最も高いのは、「雇用・労働対策が充実している」で 28.4%、次いで「公共交通の維持・充実が図られている」が 26.9%、「定住・住宅対策が充実している」が 14.8%である。
- ・「思う」と「ややそう思う」を合わせて「思う」の割合が最も高いのは、「ごみ・し尿処理が適正に行われている」で 65.3%、次いで「自然環境が保全されている」が 51.6%、「高齢者に対する取組が充実している」が 45.4%である。
- ・「それほど思わない」と「思わない」を合わせて「思わない」の割合が最も高いのは、「雇用・労働対策が充実している」で 63.5%、次いで「公共交通の維持・充実が図られている」が 54.2%、「特産物の開発・ブランド化が行われている」が 40.6%である。

問6	思う	やや そう思う	どちら でもない	それほど 思わない	思わない	不明 ・無回答	総計
1. 農業の活性化に取り組んでいる	10.0%	28.8%	38.7%	14.4%	6.3%	1.8%	100.0%
2. 林業の活性化に取り組んでいる	5.5%	18.5%	46.9%	18.5%	8.9%	1.8%	100.0%
3. 商工業の活性化に取り組んでいる	2.6%	11.8%	42.1%	26.2%	14.0%	3.3%	100.0%
4. 観光の活性化に取り組んでいる	5.5%	22.1%	34.7%	23.6%	12.5%	1.5%	100.0%
5. 雇用・労働対策が充実している	0.4%	2.6%	31.7%	35.1%	28.4%	1.8%	100.0%
6. 特産物の開発・ブランド化が行われている	3.7%	21.0%	32.8%	26.6%	14.0%	1.8%	100.0%
7. 有害鳥獣対策が行われている	7.7%	22.1%	33.6%	20.7%	14.4%	1.5%	100.0%
8. 自然環境が保全されている	15.1%	36.5%	30.3%	12.5%	3.3%	2.2%	100.0%
9. ごみ・し尿処理が適正に行われている	24.0%	41.3%	24.7%	5.5%	3.0%	1.5%	100.0%
10. 交通安全・防犯・悪徳商法等への対策が充実している	8.1%	28.4%	43.9%	11.8%	6.3%	1.5%	100.0%
11. 防災・危機管理対策が充実している	8.9%	27.7%	41.3%	13.7%	6.3%	2.2%	100.0%
12. 上水道・汚水処理の整備が進んでいる	6.6%	24.7%	39.5%	16.2%	11.1%	1.8%	100.0%
13. 定住・住宅対策が充実している	5.5%	19.2%	38.4%	20.3%	14.8%	1.8%	100.0%
14. 健康の維持や増進に関する取組が充実している	8.9%	35.4%	38.0%	13.3%	3.0%	1.5%	100.0%
15. 高齢者に対する取組が充実している	9.2%	36.2%	33.2%	14.8%	5.5%	1.1%	100.0%
16. 子育て支援や児童、ひとり親に対する取組が充実している	6.3%	21.0%	42.8%	20.7%	6.3%	3.0%	100.0%
17. 障がい者に対する取組が充実している	4.4%	16.2%	50.6%	17.3%	9.6%	1.8%	100.0%
18. 道路や橋など公共土木施設が整備されている	5.2%	25.5%	33.6%	21.8%	12.2%	1.8%	100.0%
19. 公共交通の維持・充実が図られている	1.5%	10.7%	31.7%	27.3%	26.9%	1.8%	100.0%
20. 情報ネットワークの整備・活用がなされている	2.2%	18.8%	36.9%	26.9%	13.3%	1.8%	100.0%
21. 住宅や工場、農地の混在がなく良好な景観形成がなされている	5.9%	20.3%	43.9%	17.0%	10.3%	2.6%	100.0%
22. 人権が尊重されている	9.2%	22.9%	49.8%	10.3%	6.3%	1.5%	100.0%
23. 学校教育の取組が充実している	5.2%	24.7%	41.0%	18.1%	9.2%	1.8%	100.0%
24. 社会教育・生涯学習の取組が充実している	3.7%	26.9%	46.5%	15.1%	6.3%	1.5%	100.0%
25. スポーツ活動の取組が進んでいる	6.6%	22.1%	45.8%	15.9%	8.1%	1.5%	100.0%
26. 歴史文化遺産の継承と活用が進んでいる	5.9%	22.5%	46.5%	15.9%	7.0%	2.2%	100.0%
27. 文化・芸術活動の活性化に取り組んでいる	5.5%	25.8%	44.6%	14.8%	7.4%	1.8%	100.0%
28. 姉妹都市等との交流の取組が進んでいる	5.5%	23.2%	43.2%	18.5%	8.5%	1.1%	100.0%
29. 町民参画による協働のまちづくりが行われている	3.0%	15.1%	53.9%	19.6%	6.6%	1.8%	100.0%
30. 男女共同参画社会づくりの取組が進んでいる	3.0%	12.5%	54.6%	20.7%	7.7%	1.5%	100.0%
31. 組活動の維持に向けた取組がなされている	3.3%	16.2%	51.7%	20.3%	7.4%	1.1%	100.0%
32. 他市町村と連携した取組が進んでいる	1.8%	10.0%	51.3%	24.4%	11.4%	1.1%	100.0%
33. 多様なニーズに対応した行政運営がなされている	2.2%	7.7%	52.0%	24.4%	11.8%	1.8%	100.0%
34. 効率的・効果的な財政運営の取組が進められている	2.2%	9.2%	52.4%	22.1%	12.2%	1.8%	100.0%



【参考：思う・思わない割合（不明・無回答を除く）】

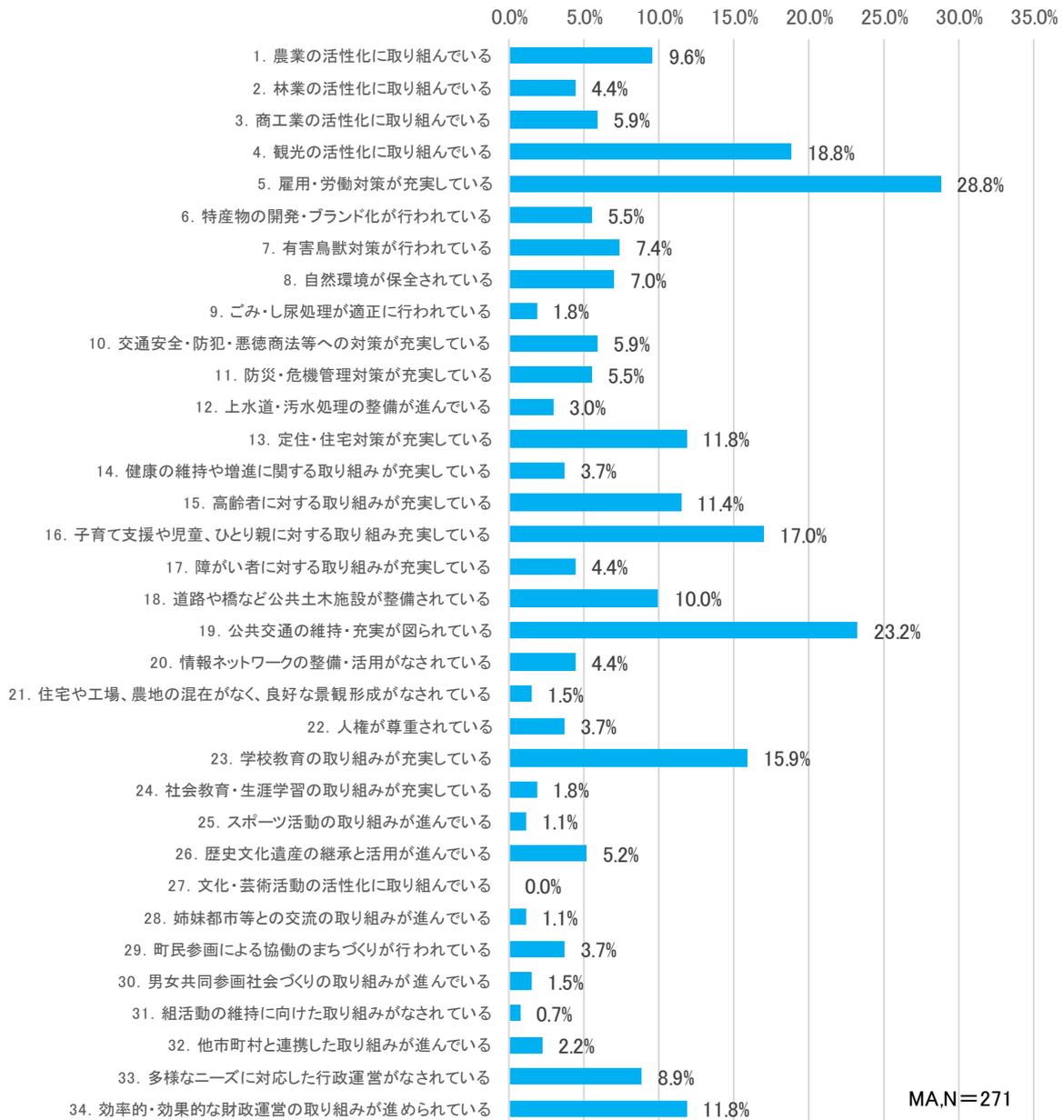


SA

※母数から不明・無回答を除いているため、前頁のグラフの数値と一致しない

問7. 添田町で今後、最も力を入れていくべき施策は何ですか。

・添田町で今後、最も力を入れていくべき施策については、「雇用・労働対策が充実している」の割合が最も高く 28.8%、次いで「公共交通の維持・充実が図られている」が 23.2%、「観光の活性化に取り組んでいる」が 18.8%である。

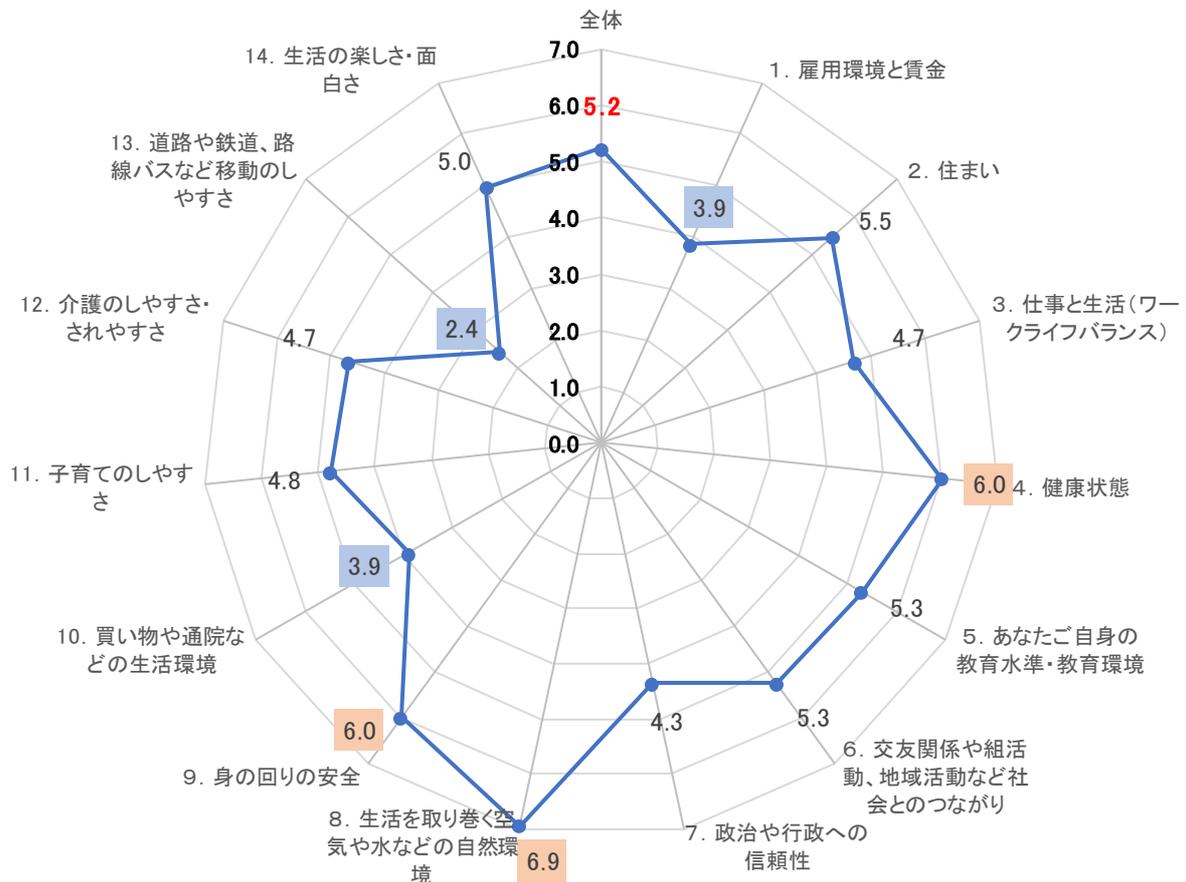


(3) 添田町のこれからのまちづくりについて

問8. あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。

問9. 生活に関係する様々な分野の満足の度合いについて、何点ですか。

- ・問 8、問 9 は、現在の生活及び生活に関係する様々な分野について、どの程度満足しているかを「非常に満足している」を10点、「全く満足していない」を0点として尋ねた設問である。
- ・全体については、5.2点であった。分野別にみると、最も点数が高いのは「生活を取り巻く空気や水などの自然環境」で6.9点、次いで「身の回りの安全」と「健康状態」が6.0点であった。
- ・一方で、最も点数が低いのは「道路や鉄道、路線バスなどの移動のしやすさ」で2.4点、次いで「雇用環境と賃金」と「買い物や通院などの生活環境」が3.9点であった。
- ・性別にみると、総計と比べて0.5点以上の差がある項目はない。
- ・年齢別にみると、総計と比べて、まず全体は、49歳以下は0.5点以上低く、50歳以上は0.5点以上高い。各項目でみると、それぞれ49歳以下は0.5点以上低い項目が多く、50歳以上は0.5点以上高い項目が多い。その中で、25歳未満では、「健康状態」と「自然環境」の点数が0.5点以上高い。



【参考：内閣府「満足度・生活の質に関する調査」】

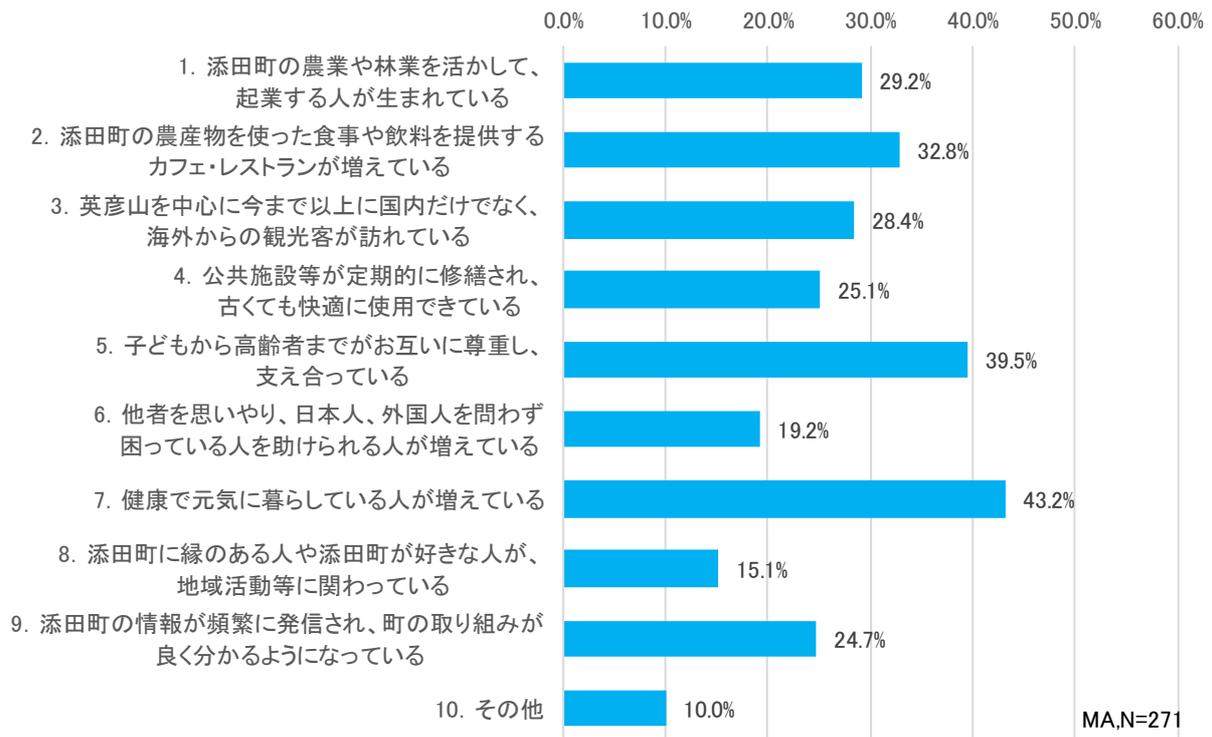
- ・平成 31 年度の調査では、総合主観満足度（全体）は 5.9 点、平成 25 年度調査では 6.7 点
- ・平成 25 年度調査をもとに、比較可能な各項目の点数をみると、仕事は 5.4 点、住まいは 6.5 点、健康は 5.9 点、学歴は 5.3 点、地域社会への帰属感は 5.0 点、子育て支援は 5.0 点、

【クロス集計】

	総計	男性	女性	25歳未満	25～49歳	50～64歳	65歳以上
全体	5.2	5.2	5.3	4.7	4.7	6.0	5.8
1. 雇用環境と賃金	3.9	3.9	3.8	3.4	3.4	4.3	4.5
2. 住まい	5.5	5.4	5.6	5.1	5.0	5.9	6.0
3. 仕事と生活（ワークライフバランス）	4.7	4.9	4.5	4.1	4.4	5.2	4.9
4. 健康状態	6.0	5.7	6.3	6.6	5.8	6.0	6.0
5. あなたご自身の教育水準・教育環境	5.3	5.1	5.4	5.6	4.8	5.7	5.2
6. 交友関係や組活動、地域活動など社会とのつながり	5.3	5.1	5.3	5.0	5.1	5.4	5.5
7. 政治や行政への信頼性	4.3	4.4	4.3	4.2	3.9	4.8	5.1
8. 生活を取り巻く空気や水などの自然環境	6.9	6.6	7.2	7.7	6.8	6.6	6.9
9. 身の回りの安全	6.0	6.1	6.0	6.2	5.7	6.2	6.2
10. 買い物や通院などの生活環境	3.9	3.9	3.9	3.3	3.1	4.6	4.8
11. 子育てのしやすさ	4.8	4.7	4.9	4.1	4.7	5.0	5.3
12. 介護のしやすさ・されやすさ	4.7	4.6	4.8	4.3	4.4	4.9	5.3
13. 道路や鉄道、路線バスなど移動のしやすさ	2.4	2.4	2.4	1.8	1.7	2.8	3.4
14. 生活の楽しさ・面白さ	5.0	4.7	5.1	4.4	4.5	5.3	5.6

問 10. あなたは、10 年後、添田町がどのようになっていたらよいと思いますか。

- ・「健康で元気に暮らしている人が増えている」の割合が最も高く 43.2%、次いで「子どもから高齢者までがお互いに尊重し、支え合っている」が 39.5%、「添田町の農産物を使った食事や飲料を提供するカフェ・レストランが増えている」が 32.8%である。
- ・性別にみると、男性では「添田町に縁のある人等が地域活動等に関わっている」の割合が 21.2%で、全体と比べて 5 ポイント以上高い一方、「お互いに尊重し、支え合っている」の割合が 30.3%で全体と比べて 5 ポイント以上低い。
- ・年齢別にみると、「25 歳未満」では「カフェ・レストランが増えている」の割合が 43.2%と全体と比べて 10 ポイント以上高い一方、「健康で元気に暮らしている人が増えている」の割合は 31.8%と、全体と比べて 10 ポイント以上低い。
- ・「25～49 歳」では「カフェ・レストランが増えている」の割合が 43.7%で全体と比べて 10 ポイント以上高い。一方、「助けられる人が増えている」の割合は 14.1%と、全体と比べて 5 ポイント以上低い。
- ・「50～64 歳」では「海外からの観光客が訪れている」の割合が 34.4%と、全体と比べて 5 ポイント以上高い一方、「支え合っている」の割合は 34.4%と、全体と比べて 5 ポイント以上低い。
- ・「65 歳以上」では、「健康で元気に暮らしている人が増えている」の割合が 53.8%で、全体と比べて 10 ポイント以上高い一方、「カフェ・レストランが増えている」の割合は 13.8%で全体と比べて 10 ポイント以上低い。



【クロス集計】

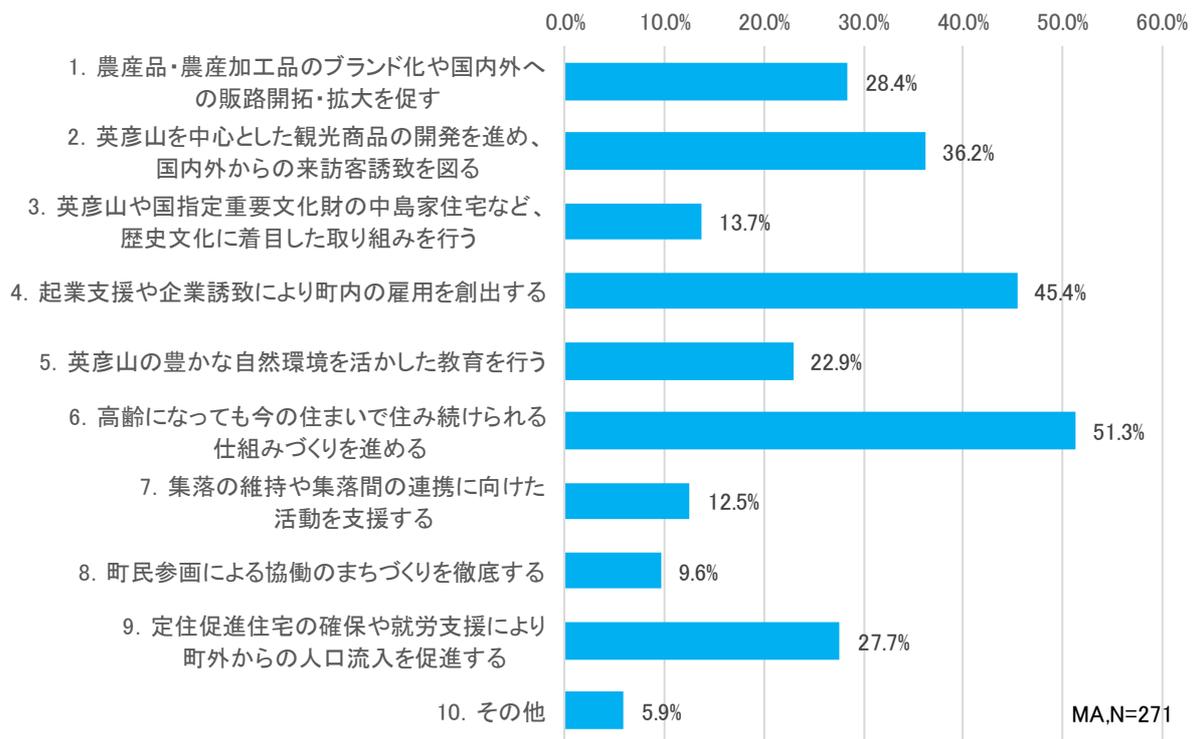
問10	総計 (N=271)	男性 (N=99)	女性 (N=156)	25歳未満 (N=44)	25～49歳 (N=71)	50～64歳 (N=61)	65歳以上 (N=65)
1. 添田町の農業や林業を活かして、起業する人が生まれている	29.2%	29.3%	30.1%	29.5%	28.2%	29.5%	30.8%
2. 添田町の農産物を使った食事や飲料を提供するカフェ・レストランが増えている	32.8%	28.3%	35.9%	43.2%	43.7%	31.1%	13.8%
3. 英彦山を中心に今まで以上に国内だけでなく、海外からの観光客が訪れている	28.4%	31.3%	26.9%	27.3%	23.9%	34.4%	29.2%
4. 公共施設等が定期的に修繕され、古くても快適に使用できている	25.1%	21.2%	27.6%	20.5%	33.8%	23.0%	23.1%
5. 子どもから高齢者までがお互いに尊重し、支え合っている	39.5%	30.3%	44.2%	36.4%	38.0%	34.4%	47.7%
6. 他者を思いやり、日本人、外国人を問わず困っている人を助けられる人が増えている	19.2%	20.2%	18.6%	27.3%	14.1%	16.4%	18.5%
7. 健康で元気に暮らしている人が増えている	43.2%	42.4%	42.3%	31.8%	39.4%	44.3%	53.8%
8. 添田町に縁のある人や添田町が好きなのが、地域活動等に関わっている	15.1%	21.2%	12.2%	18.2%	15.5%	11.5%	21.5%
9. 添田町の情報が頻繁に発信され、町の取り組みが良く分かるようになっている	24.7%	26.3%	22.4%	15.9%	22.5%	27.9%	26.2%
10. その他	10.0%	10.1%	10.3%	13.6%	12.7%	14.8%	0.0%

【その他】

分野	意見
交通・インフラ	交通の便がもっと良くなっていること
	公共交通機関の発達（特に英彦山と町外への）
	添田町の高校生が親の送迎無くバスやJRで登校できる
	都市部への通勤・通学がしやすい町になっている（補助が出るなど）
	自分で車を運転しなくても移動が可能な公共交通機関がある
	高齢者の移動手段（公共交通等）がもっと充実してほしい。
	団地や道路が新しくなり住みやすくなっている。
雇用・産業	囲まれている市町村にも行きやすいルート作りがなされている
	お給料が高くて、働く場所がたくさんあるようになっている
	企業誘致があり、雇用や定住が軌道にのり、子どもから高齢者までが安心して生活できる町
	ベッタタウン、ロボットの修理工場、バイオ研究所、ロケット工場など
	ずっと働ける職場が増えると良い
	働く世代が暮らしやす町を作り人口流出を防ぐ
定住	昔から頑張っているお店が代々続いて元気に頑張っている。
	人々が添田町に移住したくなるような取り組み
生活の質	若い子育て世代が増えて楽しく生活している
	自然を体験して心豊かに生きるためのワークショップ。ねちやゲームの拠点となる。そのためのイベント、勉強会も行う。
広域連携	過疎化しても、幸福感があれば良い
	添田町単体として生き抜くのは正直難しいので、田川市郡での連携での発展が望ましい。
行財政	福島県の矢祭町の根本町長の町政運営を学ぶ
自立	他人任せではなく、自分達で回せる町づくり
防災・減災	災害に強い町
その他	何も変わっていないと思います。
	老害を何とかする
	新しい価値観によるまちの魅力の創造

問 11. 添田町の今後のまちづくりの方向性として考えに最も近いものは何ですか。

- ・「高齢になっても今の住まいで住み続けられる仕組みづくりを進める」の割合が最も高く 51.3%、次いで「企業視線や企業誘致により町内の雇用を創出する」が 45.4%、「英彦山を中心とした観光商品の開発を進め、国内外からの来訪客誘致を図る」が 36.2%である。
- ・性別にみると、男性では「高齢になっても住み続けられる仕組みづくり」の割合が 41.4%で、全体と比べて 5 ポイント以上低い一方、女性は 57.1%で全体と比べて 5 ポイント以上高い。
- ・女性では、「国内外からの来訪客誘致を図る」の割合が 31.4%と全体と比べて 5 ポイント以上低い
- ・年齢別にみると、「25 歳未満」では「農産品等の販路開拓・拡大を促す」の割合が 38.6%で全体と比べて 10 ポイント以上高い一方、「人口流入を促進する」の割合は 13.6%で全体と比べて 10 ポイント低い。
- ・「25～49 歳」では「自然環境を活かした教育を行う」の割合が 32.4%と、全体と比べて 10 ポイント以上高い一方、「町内の雇用を創出する」の割合は 33.8%で全体と比べて 10 ポイント以上低い。
- ・「50～64 歳」では「歴史文化に着目した取り組みを行う」の割合が 21.3%で、全体と比べて 5 ポイント以上高い一方、「農産品等の販路開拓・拡大を促す」、「町内の雇用を創出する」、「高齢になっても住み続けられる仕組みづくり」の割合は、それぞれ 19.7%、39.3%、45.9%で全体と比べて 5 ポイント以上低い。
- ・「65 歳以上」では、「町内の雇用を創出する」と「高齢になっても住み続けられる仕組みづくり」の割合がそれぞれ 60.0%、67.7%で、全体と比べて 10 ポイント以上高い。一方、「歴史文化に着目した取り組み」、「自然環境を活かした教育」の割合は、それぞれ 6.2%、13.8%で全体と比べて 5 ポイント以上低い。



【クロス集計】

問11	総計 (N=271)	男性 (N=99)	女性 (N=156)	25歳未満 (N=44)	25～49歳 (N=71)	50～64歳 (N=61)	65歳以上 (N=65)
1. 農産品・農産加工品のブランド化や国内外への販路開拓・拡大を促す	28.4%	26.3%	30.1%	38.6%	28.2%	19.7%	30.8%
2. 英彦山を中心とした観光商品の開発を進め、国内外からの来訪客誘致を図る	36.2%	40.4%	31.4%	34.1%	35.2%	37.7%	35.4%
3. 英彦山や国指定重要文化財の中島家住宅など、歴史文化に着目した取り組みを行う	13.7%	17.2%	12.8%	15.9%	16.9%	21.3%	6.2%
4. 起業支援や企業誘致により町内の雇用を創出する	45.4%	48.5%	44.2%	40.9%	33.8%	39.3%	60.0%
5. 英彦山の豊かな自然環境を活かした教育を行う	22.9%	18.2%	26.9%	22.7%	32.4%	24.6%	13.8%
6. 高齢になっても今の住まいで住み続けられる仕組みづくりを進める	51.3%	41.4%	57.1%	43.2%	43.7%	45.9%	67.7%
7. 集落の維持や集落間の連携に向けた活動を支援する	12.5%	17.2%	9.0%	20.5%	9.9%	8.2%	12.3%
8. 町民参画による協働のまちづくりを徹底する	9.6%	14.1%	5.1%	6.8%	11.3%	6.6%	10.8%
9. 定住促進住宅の確保や就労支援により町外からの人口流入を促進する	27.7%	30.3%	27.6%	13.6%	35.2%	32.8%	26.2%
10. その他	5.9%	7.1%	5.1%	4.5%	9.9%	4.9%	1.5%

【その他】

分野	意見
雇用・産業	添田で働く場所（大手の会社を呼ぶ）
	英彦山に猟師を3人、生活を保障して雇う。猪と鹿肉を食用とする施設も作る。猪はとても美味しく価値がある。山の木の根元を掘って、倒木や倒石の原因になり危険を感じる。鹿肉はパサパサしているが好きな人もいる。料理コンテンツも開く。
	観光客・トラックドライバーをターゲットに、道の駅の24時間営業と駐車場を拡大して、経済の活性化を図る。
	添田町も英彦山神宮との連携を生かしてネットで発信を、待っているだけでは人は来ないです。
	地域リーダーの育成（地域とビジネス（商業、農業、観光）と行政をつなぐ人材の育成）
文化や地域産業の魅力を拡大して発信していきける施策の実施	
交通・インフラ	交通の便をより良くする
	道路等、短時間で高速道路への接続や鉄道の整備
	JR九州の日田彦山線の完全復旧し活性化する
	交通
教育	子供たちがもっとしっかり勉強できる環境（英峰塾、日進塾素晴らしい！いつもありがとう）
	小中学校で町独自のカリキュラムを設け、田舎の公立学校でも、ある程度の語学力を高めることができる仕組みづくり
定住	9に近いが町外だけでなく、町内に残ってくれる人たちが住みやすくなる環境づくり
人権	高齢者と若年層との壁なき互いを認め合える共存。
その他	方向性が分からないおに最も近いものはない。
その他	英彦山や中島家などにとらわれず新しいものを外に発信する。事業の拡大。

問 12. 町長だとしたら、10年後の添田町に向けて、真っ先に取り組むことは何ですか。

・意見を分類すると全部で 237 件あった。そのうち、最も多かったのは雇用対策（企業誘致・素
企業支援）に関する意見で 34 件、次いで「定住促進・人口増加」に関する意見が 32 件、「観
光振興」に関する意見が 28 件であった。

小見出し	意見数	小見出し	意見数
総計	237	高齢者支援	6
雇用対策(企業誘致・起業支援)	34	商業振興	5
定住促進・人口増加	32	福祉・医療	4
観光振興	28	情報発信	4
移動手段の確保・充実	27	健康促進	3
教育	15	環境美化	3
子育て支援	11	コンパクトシティー	2
町民参画	10	インフラ整備	2
行財政改革	10	障がい者支援	2
議員・職員改革	8	特になし・分からない	5
農林業振興	7	その他	13
安全・安心	6		

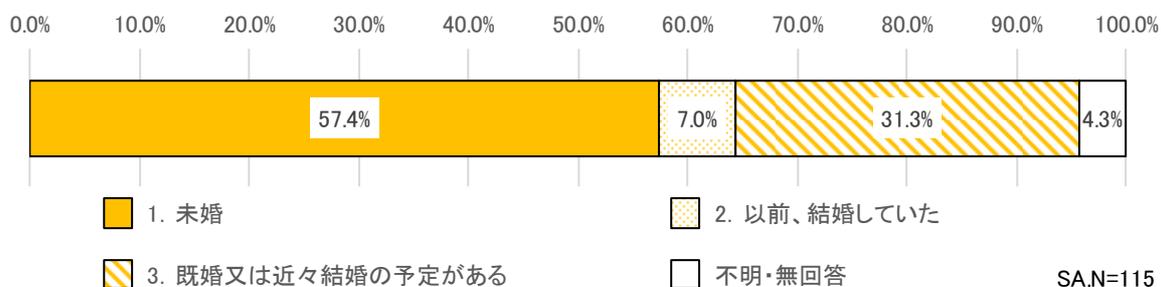
※詳細は巻末に記載

(4) 町の将来人口を推計するための設問について

問 13～18 は、18 歳～49 歳の方対象 115 人

問 13. あなたは「結婚」していますか。

・「未婚」の割合が最も高く 57.4%、次いで「既婚又は近々結婚の予定がある」が 31.3%、「以前、結婚していた」が 7.0%である。

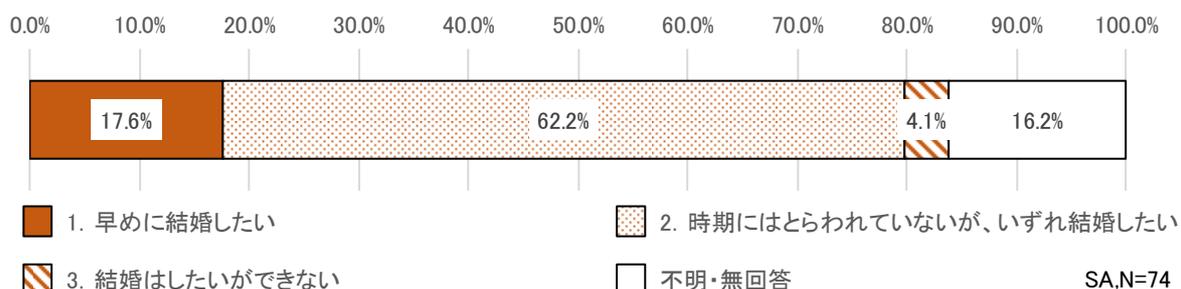


問13	回答数	割合
1. 未婚	66	57.4%
2. 以前、結婚していた	8	7.0%
3. 既婚又は近々結婚の予定がある	36	31.3%
不明・無回答	5	4.3%
総計	115	100.0%

問 14、15 は、問 13 で「1. 未婚」、「2. 以前、結婚していた」と回答した方対象 74 人

問 14. 「結婚」についての意向

・問 13 で「1. 未婚」、「2. 以前、結婚していた」と回答した 74 人を対象に、結婚についての意向を尋ねたところ、「時期にはとらわれていないが、いずれ結婚したい」の割合が最も高く 62.2%、次いで「早めに結婚したい」が 17.6%、「結婚はしたいができない」が 4.1%である。



問14	回答数	割合
1. 早めに結婚したい	13	17.6%
2. 時期にはとらわれていないが、いずれ結婚したい	46	62.2%
3. 結婚はしたいができない	3	4.1%
不明・無回答	12	16.2%
総計	74	100.0%

問 15. 何歳ぐらいで結婚したいですか。

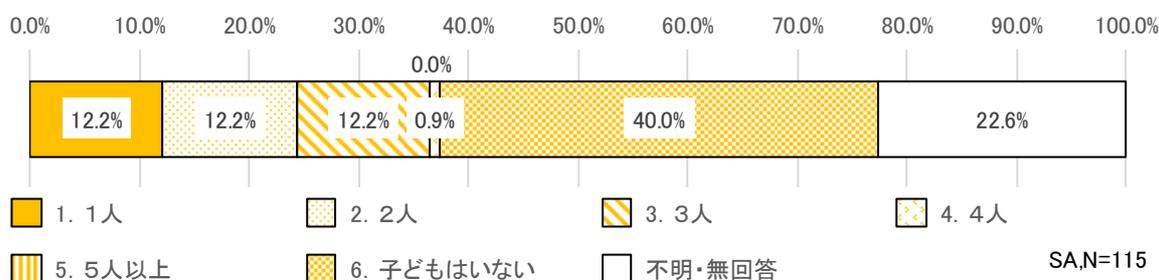
- ・問 14 で「早めに結婚したい」、「時期にはとらわれていないが、いずれ結婚したい」と回答した 59 人を対象に結婚希望年齢を尋ねたところ、現在「25 歳未満」では「30 歳」が最も多く 11 人、現在「25～49 歳」では「35 歳」が最も多く 4 人である。

希望する結婚年齢	現在の年齢		総計
	25歳未満	25～49歳	
20歳	1	0	1
23歳	3	0	3
24歳	3	0	3
25歳	9	1	10
26歳	2	0	2
27歳	3	0	3
28歳	3	1	4
30歳	11	2	13
33歳	1	1	2
35歳	0	4	4
37歳	1	0	1
40歳	0	3	3
45歳	0	2	2
48歳	0	1	1
50歳	0	1	1
—	1	5	6
総計	38	21	59

問 16～18 は、18 歳～49 歳の方対象 115 人

問 16. 現在、あなたには何人のお子さまがいらっしゃいますか。

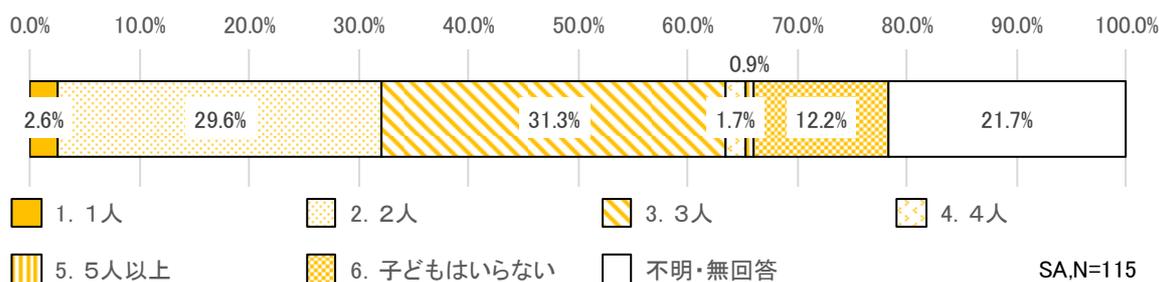
- ・現在の子どもの人数は、「子どもはいない」の割合が最も高く 40.0%、次いで「1 人」、「2 人」、「3 人」がそれぞれ 12.2%である。
- ・現実の子どもの数の平均人数は 1.0 人である。



問16	回答数	割合
1. 1人	14	12.2%
2. 2人	14	12.2%
3. 3人	14	12.2%
4. 4人	1	0.9%
5. 5人以上	0	0.0%
6. 子どもはいない	46	40.0%
不明・無回答	26	22.6%
総計	115	100.0%

問 17. 理想とする子どもの数は何人ですか。

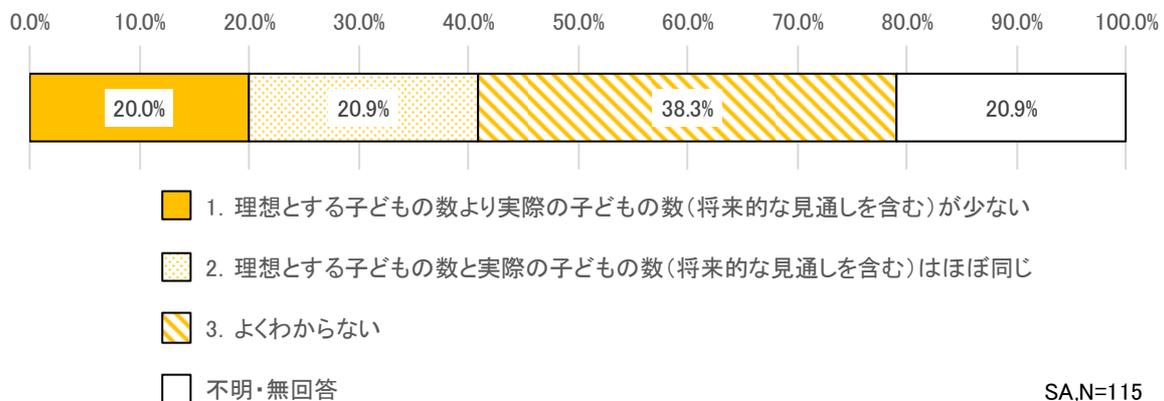
- ・理想とする子どもの人数は、「3 人」の割合が最も高く 31.3%、次いで「2 人」が 29.6%、「子どもはいらない」が 12.2%である。
- ・理想とする子どもの数の平均人数は 2.1 人である。



問17	回答数	割合
1. 1人	3	2.6%
2. 2人	34	29.6%
3. 3人	36	31.3%
4. 4人	2	1.7%
5. 5人以上	1	0.9%
6. 子どもはいらない	14	12.2%
不明・無回答	25	21.7%
総計	115	100.0%

問 18. 「理想とする子どもの数」と現実の間にギャップはありますか。

・理想とする子どもの数と現実の間とのギャップについては、「よくわからない」の割合が最も高く 38.3%、次いで「ほぼ同じ」が 20.9%、「少ない」が 20.0%である。



問18	回答数	割合
1. 理想とする子どもの数より実際の子どもの数（将来的な見直しを含む）が少ない	23	20.0%
2. 理想とする子どもの数と実際の子どもの数（将来的な見直しを含む）はほぼ同じ	24	20.9%
3. よくわからない	44	38.3%
不明・無回答	24	20.9%
総計	115	100.0%

【参考：現実と理想の子どもの数について】

・現在 0 人の方は 2 人を希望する人が 19 人で最も多い。1 人の方も 2 人を希望する人が 7 人で最も多い。2 人の方は 3 人を希望する人が 7 人で最も多い。3 人の方は 3 人を希望する人がほぼ全員である。

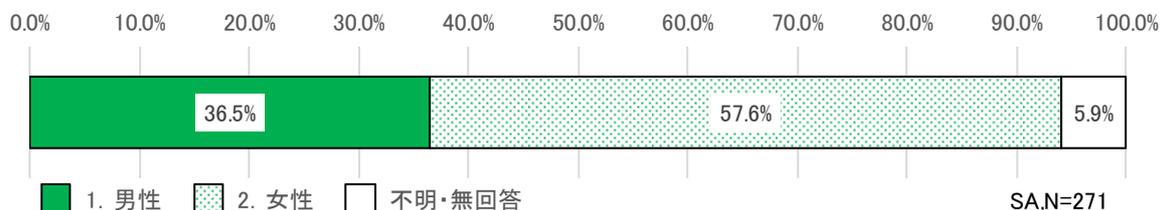
		現実の人数							総計
		0人	1人	2人	3人	4人	5人	－	
理想の人数	0人	13	0	1	0	0	0	0	3
	1人	1	2	0	0	0	0	0	34
	2人	19	7	4	0	1	0	3	36
	3人	10	4	7	13	0	0	2	2
	4人	1	0	0	1	0	0	0	1
	5人	0	0	1	0	0	0	0	14
－		2	1	1	0	0	0	21	25
総計		46	14	14	14	1	0	26	115

(5) あなたご自身のことについて

問19. あなたご自身のことについて、お答えください。

①性別

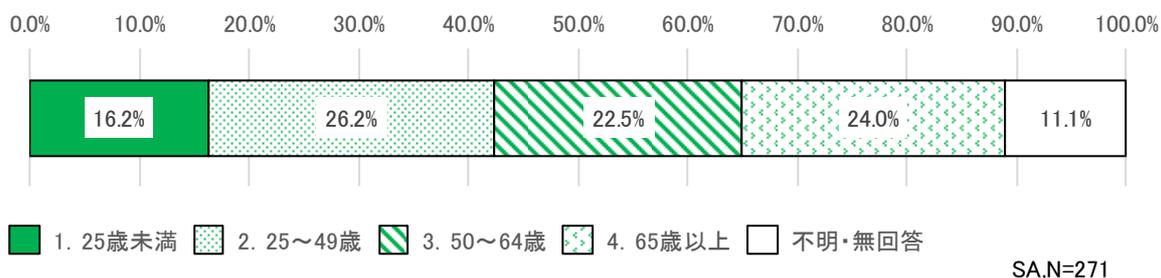
- ・男性が36.5%、女性が57.6%で女性の回答者が多い。



問19 性別	回答数	割合
1. 男性	99	36.5%
2. 女性	156	57.6%
不明・無回答	16	5.9%
総計	271	100.0%

②年齢

- ・「25～49歳」の割合が最も高く26.2%、次いで「65歳以上」が24.0%、「50～64歳」が22.5%である。



問19 年齢	回答数	割合
1. 25歳未満	44	16.2%
2. 25～49歳	71	26.2%
3. 50～64歳	61	22.5%
4. 65歳以上	65	24.0%
不明・無回答	30	11.1%
総計	271	100.0%

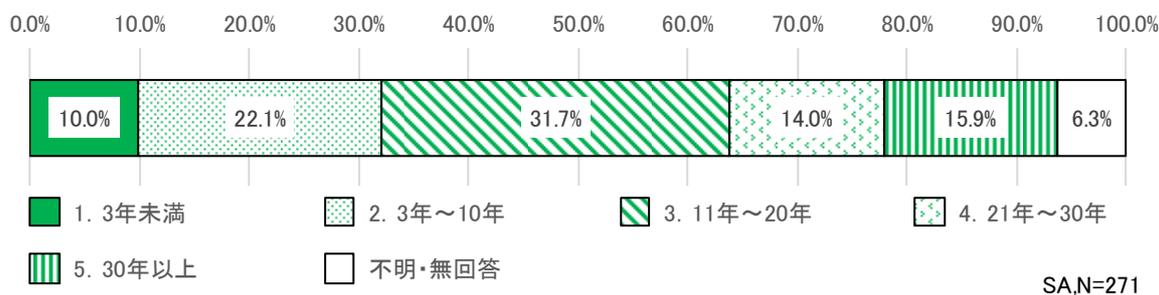
③行政区

・「伊原」が最も多く19人、次いで「下中元寺」が17人、「町三」が14人である。

問19 行政区	回答数	割合
1. 上津野	6	2.2%
2. 中津野	4	1.5%
3. 下津野	9	3.3%
4. 英彦山	4	1.5%
5. 上落合一	4	1.5%
6. 上落合二	4	1.5%
7. 下落合	6	2.2%
8. 榑田	3	1.1%
9. 一ノ宮	1	0.4%
10. 旧三崎	3	1.1%
11. 上中元寺	7	2.6%
12. 下中元寺	17	6.3%
13. 野田	10	3.7%
14. 添田東	4	1.5%
15. 添田中	6	2.2%
16. 添田西	3	1.1%
17. 峰地	8	3.0%
18. 峰地団地	7	2.6%
19. 町一	6	2.2%
20. 町二	8	3.0%
21. 町三	14	5.2%
22. 町四	9	3.3%
23. 伊原	19	7.0%
24. 豊川	3	1.1%
25. 庄東	6	2.2%
26. 庄中	9	3.3%
27. 庄上	5	1.8%
28. 庄西	9	3.3%
29. 峰地北	0	0.0%
30. 桜橋	8	3.0%
31. 新城	5	1.8%
32. 岩瀬	13	4.8%
33. 真木	12	4.4%
34. 真木団地	6	2.2%
不明・無回答	33	12.2%
総計	271	100.0%

④居住歴

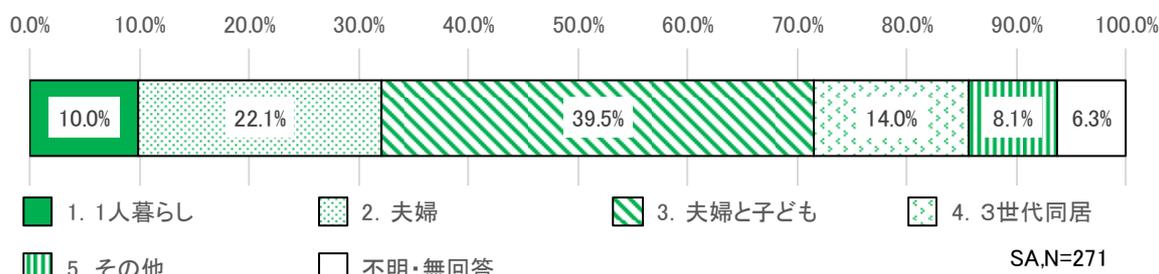
・「11年～20年」の割合が最も高く31.7%、次いで「3年～10年」が22.1%、「30年以上」が15.9%である。



問19 居住歴	回答数	割合
1. 3年未満	27	10.0%
2. 3年～10年	60	22.1%
3. 11年～20年	86	31.7%
4. 21年～30年	38	14.0%
5. 30年以上	43	15.9%
不明・無回答	17	6.3%
総計	271	100.0%

⑤同居の有無

・「夫婦と子ども」の割合が最も高く39.5%、次いで「夫婦」が22.1%、「3世代同居」が14.0%である。



※「夫婦と子ども」には、片親と子どもも含めている

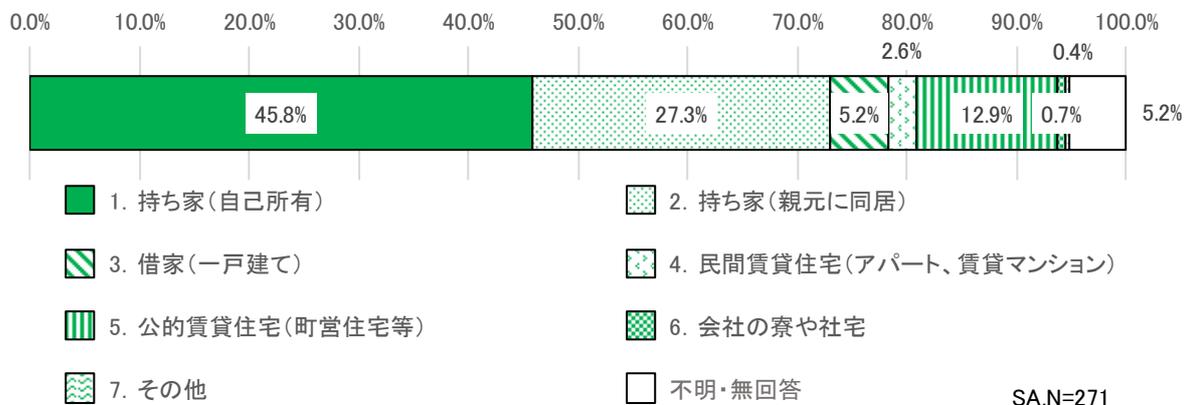
問19 同居の有無	回答数	割合
1. 1人暮らし	27	10.0%
2. 夫婦	60	22.1%
3. 夫婦と子ども	107	39.5%
4. 3世代同居	38	14.0%
5. その他	22	8.1%
不明・無回答	17	6.3%
総計	271	100.0%

【その他】

- ・ 家族
- ・ 兄
- ・ 4世代同居（2）
- ・ 実家暮らし
- ・ 姉妹
- ・ 施設

⑥居住形態

- ・「持ち家（自己所有）」の割合が最も高く 45.8%、次いで「持ち家（親元に同居）」が 27.3%、「公的賃貸住宅（町営住宅等）」が 12.9%である。



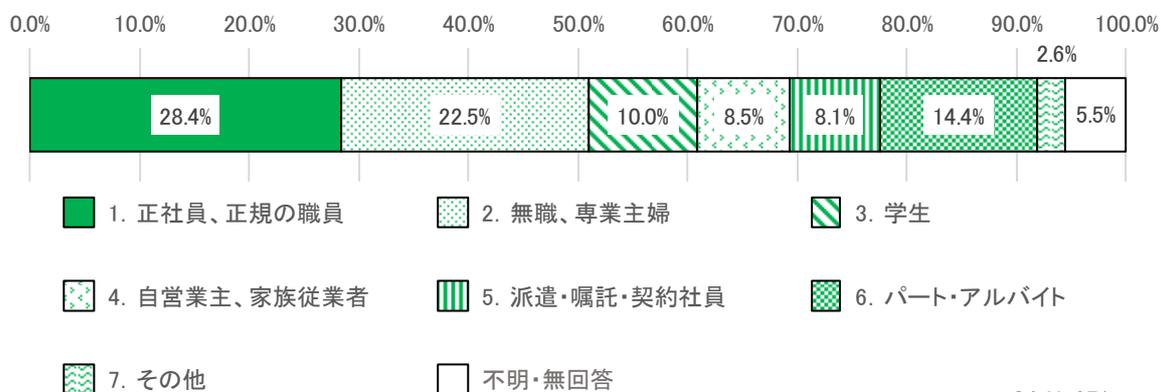
問19 居住形態	回答数	割合
1. 持ち家（自己所有）	124	45.8%
2. 持ち家（親元に同居）	74	27.3%
3. 借家（一戸建て）	14	5.2%
4. 民間賃貸住宅（アパート、賃貸マンション）	7	2.6%
5. 公的賃貸住宅（町営住宅等）	35	12.9%
6. 会社の寮や社宅	2	0.7%
7. その他	1	0.4%
不明・無回答	14	5.2%
総計	271	100.0%

【その他】

- ・持ち家（子の所有）

⑦就業状態

・「正社員、正規の職員」の割合が最も高く 28.4%、次いで「無職、専業主婦」が 22.5%、「パート・アルバイト」が 14.4%である。



SA,N=271

問19 就業形態	回答数	割合
1. 正社員、正規の職員	77	28.4%
2. 無職、専業主婦	61	22.5%
3. 学生	27	10.0%
4. 自営業主、家族従業者	23	8.5%
5. 派遣・嘱託・契約社員	22	8.1%
6. パート・アルバイト	39	14.4%
7. その他	7	2.6%
不明・無回答	15	5.5%
総計	271	100.0%

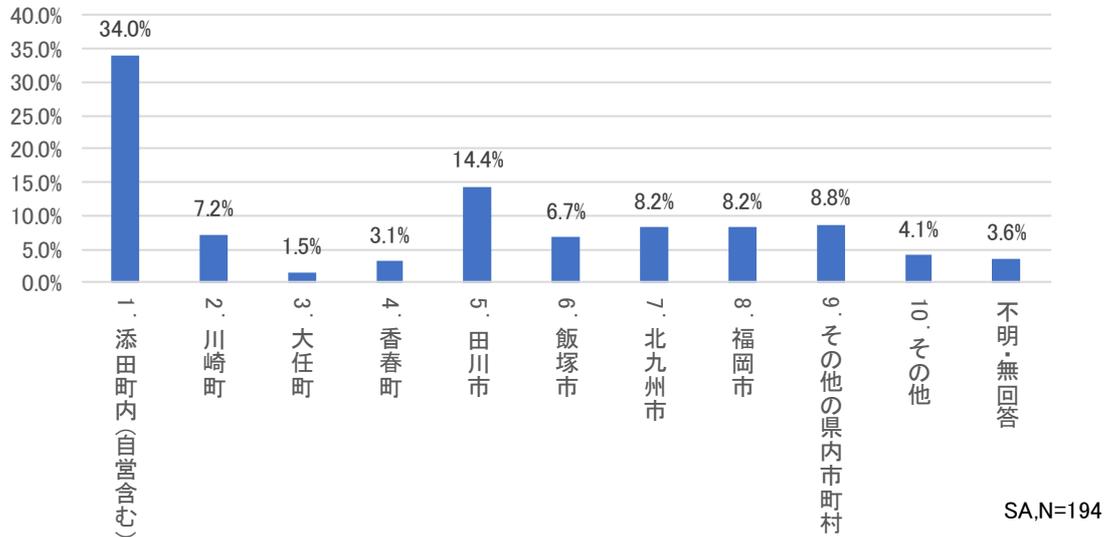
【その他】

- ・就卒
- ・年金暮らし
- ・学生兼パート
- ・施設での軽作業

⑧勤務地または就学地

※就業形態で「無職、専業主婦」「不明・無回答」を除く

- ・「添田町内（自営を含む）」の割合が最も高く 34.0%、次いで「田川市」が 14.4%、「その他の県内市町村」が 8.8%である。



問19 勤務地または就学地	回答数	割合
1. 添田町内（自営含む）	66	34.0%
2. 川崎町	14	7.2%
3. 大任町	3	1.5%
4. 香春町	6	3.1%
5. 田川市	28	14.4%
6. 飯塚市	13	6.7%
7. 北九州市	16	8.2%
8. 福岡市	16	8.2%
9. その他の県内市町村	17	8.8%
10. その他	8	4.1%
不明・無回答	7	3.6%
総計	194	100.0%

【その他】

- ・筑豊一円
- ・本社大阪（福岡支社）
- ・働いていません
- ・渋谷区渋谷
- ・山口県下関市

(6) 卷末資料

①問3 意見一覧

性別	年齢	小見出し	意見
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25歳未満	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山（紅葉や神宮）
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山スキー場のススキ
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	25～49歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山の自然
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	50～64歳	英彦山	霊峰英彦山全体
男性	50～64歳	英彦山	修験道の英彦山
男性	50～64歳	英彦山	英彦山
男性	65歳以上	英彦山	英彦山（上宮奉幣殿モノレール）
男性	65歳以上	英彦山	国定公園英彦山
男性	65歳以上	英彦山	英彦山
男性	65歳以上	英彦山	英彦山
男性	65歳以上	英彦山	英彦山（スロープカー）
男性	65歳以上	英彦山	英彦山をもっとアピールしてほしい冬は雪多く大変
男性	65歳以上	英彦山	英彦山
男性	65歳以上	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山しかない
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25歳未満	英彦山	英彦山
女性	25～49歳	英彦山	英彦山の紅葉がキレイだと思います。
女性	25～49歳	英彦山	英彦山
女性	25～49歳	英彦山	添田町に英彦山という山
女性	25～49歳	英彦山	英彦山の紅葉
女性	25～49歳	英彦山	英彦山
女性	25～49歳	英彦山	英彦山
女性	25～49歳	英彦山	英彦山

女性	25～49 歳	英彦山	英彦山
女性	25～49 歳	英彦山	英彦山
女性	25～49 歳	英彦山	英彦山からの眺め
女性	25～49 歳	英彦山	英彦山
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山の自然
女性	50～64 歳	英彦山	最近 Facebook で英彦山門前町同好会がNHKテレビでも取り上げられたようです。同好会が出来ているみたいで す。福岡方面の方なども多く参加者も増えていると聞いて ます。この英彦山を活かした取組も町として活かして はどうかと思います。歴史ある取組に又自然を生かし た取組を！
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山の歴史と自然
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山の自然
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山の紅葉だと思う
女性	50～64 歳	英彦山	よく知られている英彦山です
女性	50～64 歳	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山（山が好きだから）
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山というすばらしい山が自然を豊かにしているこ と。歴史を知る山であること。
女性	65 歳以上	英彦山	自然の中に英彦山及び神社があり生かす素材が多い事
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山添田町の色々を知り尽くしていないため答えよう がありません。
女性	65 歳以上	英彦山	英彦山
女性	—	英彦山	英彦山
女性	—	英彦山	英彦山
女性	—	英彦山	日本三大修験道山である英彦山
—	—	英彦山	英彦山
—	—	英彦山	英彦山
—	—	英彦山	英彦山
男性	25～49 歳	自然の良さ・豊かさ	自然環境
男性	25～49 歳	自然の良さ・豊かさ	特にないが静寂な自然と鹿の群れ
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	自然
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	自然に恵まれている
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	杉・桧木
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	自然環境
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	自然
男性	50～64 歳	自然の良さ・豊かさ	自然
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然環境
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	清流（自然環境）
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	ホタル（昆虫）
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	クマタカ（鳥類）
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	山の幸（山菜）
男性	65 歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然
女性	25 歳未満	自然の良さ・豊かさ	季節が良く感じられる自然の風景
女性	25 歳未満	自然の良さ・豊かさ	雪景色がきれい。
女性	25 歳未満	自然の良さ・豊かさ	自然が豊か
女性	25 歳未満	自然の良さ・豊かさ	紅葉

女性	25歳未満	自然の良さ・豊かさ	自然が豊かなこと、星がきれいなこと、動物がいること（鹿、猪など）、町にいとると害のあるものかもしれませんが、上京して今思うと自然豊かということは何よりも自慢したいことです。
女性	25歳未満	自然の良さ・豊かさ	自然
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	夏：川、秋：紅葉、冬：雪景色、春：桜、梅雨：蛍
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然の豊かさ
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	桜、紅葉
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然が豊かである
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然豊かなところ
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	山
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然豊か
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	自然
女性	25～49歳	自然の良さ・豊かさ	木が多い
女性	50～64歳	自然の良さ・豊かさ	堂々とした山と川
女性	50～64歳	自然の良さ・豊かさ	特産品としてこれという強力な物を開発して自然環境の良い所もアピールしていいと思います。昆虫を取る、メダカや川の生き物を取る企画の後に、町でとれた美味しいお米でおにぎりをつくるなど、ウォーキングなどもどうですか。
女性	65歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然が豊か
女性	65歳以上	自然の良さ・豊かさ	空気のきれいなこと
女性	65歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然豊かなやはり英彦山など緑が多い所
女性	65歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然が豊かだと思います。
女性	65歳以上	自然の良さ・豊かさ	自然が良い
女性	—	自然の良さ・豊かさ	自然
女性	—	自然の良さ・豊かさ	自然
男性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	添田花火大会（5000発）
男性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	イベントとしては近距離での花火大会。
男性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
男性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	夏祭り
男性	65歳以上	夏祭り（花火大会）	花火大会
男性	65歳以上	夏祭り（花火大会）	花火大会
男性	65歳以上	夏祭り（花火大会）	花火大会
男性	—	夏祭り（花火大会）	夏の花火大会
女性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	夏祭り
女性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25歳未満	夏祭り（花火大会）	夏祭り（花火が多いところ）
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	添田花火大会は賑わって良いと思うが、もう少し花火の数を増やすとより活気ある祭りになると思う。
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	添田花火大会
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	8月花火大会（近い距離で見れて、きれい）
女性	25～49歳	夏祭り（花火大会）	花火大会もすごくきれい
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	サンスポの花火
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	50～64歳	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	65歳以上	夏祭り（花火大会）	花火大会
女性	65歳以上	夏祭り（花火大会）	花火大会

女性	—	夏祭り(花火大会)	花火大会
女性	—	夏祭り(花火大会)	花火大会
女性	—	夏祭り(花火大会)	夏祭りの花火
男性	25歳未満	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	65歳以上	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	65歳以上	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	65歳以上	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	—	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	—	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25歳未満	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25歳未満	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25~49歳	英彦山神宮(英彦山神社)	神宮
女性	25~49歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25~49歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25~49歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	25~49歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮(九州で一番位が高い)
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	50~64歳	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
女性	65歳以上	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神社
女性	65歳以上	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神社
—	—	英彦山神宮(英彦山神社)	英彦山神宮
男性	25~49歳	農産物(米・野菜)	野菜が美味しい
男性	25~49歳	農産物(米・野菜)	野菜
男性	25~49歳	農産物(米・野菜)	米
男性	50~64歳	農産物(米・野菜)	農業
男性	65歳以上	農産物(米・野菜)	米
男性	65歳以上	農産物(米・野菜)	野菜
男性	65歳以上	農産物(米・野菜)	農産物
女性	25歳未満	農産物(米・野菜)	米
女性	25~49歳	農産物(米・野菜)	野菜
女性	50~64歳	農産物(米・野菜)	野菜
女性	50~64歳	農産物(米・野菜)	米
女性	50~64歳	農産物(米・野菜)	農産物
女性	50~64歳	農産物(米・野菜)	米
女性	65歳以上	農産物(米・野菜)	野菜が新鮮
男性	25歳未満	ゆずごしょう	ゆずごしょう
男性	25~49歳	ゆずごしょう	柚子ごしょう
男性	50~64歳	ゆずごしょう	ゆず胡椒、
男性	50~64歳	ゆずごしょう	山伏が作ったゆずごしょうの発祥の地
男性	65歳以上	ゆずごしょう	柚子ごしょう
女性	25歳未満	ゆずごしょう	ゆずごしょう
女性	25歳未満	ゆずごしょう	ゆずごしょう
女性	50~64歳	ゆずごしょう	ゆずごしょう
女性	50~64歳	ゆずごしょう	ゆずごしょう
女性	50~64歳	ゆずごしょう	柚子胡椒
女性	65歳以上	ゆずごしょう	ゆずごしょう
女性	—	ゆずごしょう	ゆずごしょう
男性	50~64歳	ふるさと祭り	ふるさと祭り
男性	65歳以上	ふるさと祭り	ふる里まつり
男性	65歳以上	ふるさと祭り	ふる里まつり
女性	25歳未満	ふるさと祭り	ふるさと祭
女性	25歳未満	ふるさと祭り	コトはふるさと祭り

女性	25～49 歳	ふるさと祭り	ふるさと祭り
女性	25～49 歳	ふるさと祭り	秋ふる里祭り（ひこさんガラガラの体験が子どもたちはうれしそう）
女性	25～49 歳	ふるさと祭り	ふるさと祭り
女性	50～64 歳	ふるさと祭り	ふるさと祭りをもっと拡大した行事にはどうでしょうか。
女性	50～64 歳	ふるさと祭り	ふるさとまつり
女性	50～64 歳	ふるさと祭り	ふるさと祭り
女性	65 歳以上	ふるさと祭り	ふるさと祭り
男性	65 歳以上	添田公園	添田公園をもっとアピールして、整備して、池もきれいにしてほしい。
男性	65 歳以上	添田公園	添田公園
女性	25 歳未満	添田公園	添田公園の桜、豊前坊の紅葉
女性	25 歳未満	添田公園	添田公園の桜
女性	25～49 歳	添田公園	添田公園の桜がキレイだと思います。
女性	25～49 歳	添田公園	添田公園
女性	50～64 歳	添田公園	添田公園
女性	50～64 歳	添田公園	添田公園
女性	50～64 歳	添田公園	添田公園
女性	65 歳以上	添田公園	添田公園
女性	65 歳以上	添田公園	添田公園
—	25 歳未満	添田公園	添田公園の桜
男性	50～64 歳	めんべい	めんべい工場
男性	50～64 歳	めんべい	めんべい工場があり、ソフトボールチームがある。
男性	50～64 歳	めんべい	めんべい
男性	65 歳以上	めんべい	めんべい
女性	25 歳未満	めんべい	めんべい
女性	25 歳未満	めんべい	めんべい
女性	25 歳未満	めんべい	めんべい
女性	25～49 歳	めんべい	めんべい
女性	25～49 歳	めんべい	めんべい工場
女性	50～64 歳	めんべい	めんべい
男性	25～49 歳	岩石城（山）	岩石城
男性	50～64 歳	岩石城（山）	岩石山
男性	65 歳以上	岩石城（山）	岩石城
女性	25～49 歳	岩石城（山）	岩石山
女性	50～64 歳	岩石城（山）	岩石山
女性	65 歳以上	岩石城（山）	岩石山
女性	65 歳以上	岩石城（山）	岩石山
女性	65 歳以上	岩石城（山）	岩石山から見る風景
女性	65 歳以上	岩石城（山）	岩石城まつり
男性	50～64 歳	神幸祭	神幸祭
男性	50～64 歳	神幸祭	神幸祭
男性	50～64 歳	神幸祭	神幸祭
女性	25 歳未満	神幸祭	神幸祭
女性	25～49 歳	神幸祭	津野神幸
女性	50～64 歳	神幸祭	神幸祭
女性	50～64 歳	神幸祭	神幸祭
女性	65 歳以上	神幸祭	下落合の神幸祭は地区の皆で協力しているが、この先、若者が少なくて不安である。婦人のつながりも少なく、町の協力はなしでは続けていけないと思う。
男性	65 歳以上	勸遊舎	勸遊舎
女性	25～49 歳	勸遊舎	勸遊舎
女性	25～49 歳	勸遊舎	道の駅
女性	25～49 歳	勸遊舎	勸遊舎
女性	50～64 歳	勸遊舎	勸遊舎
女性	50～64 歳	勸遊舎	勸遊舎
女性	65 歳以上	勸遊舎	勸遊舎ひこさん

女性	65歳以上	勧遊舎	勧遊舎
男性	25歳未満	その他お祭り・イベント	桜ウォーキング大会
男性	50～64歳	その他お祭り・イベント	神楽
女性	25歳未満	その他お祭り・イベント	小学校と地域合同の運動会
女性	25～49歳	その他お祭り・イベント	獅子舞
女性	25～49歳	その他お祭り・イベント	くるみフェスティバルやもくもくまつりも好きです。
女性	65歳以上	その他お祭り・イベント	イベントは色々あって良いと思う
女性	65歳以上	その他お祭り・イベント	津野小学校の運動会は全体（津野）のお祭り
—	—	その他お祭り・イベント	お祭り
女性	25～49歳	風景	風景の美しさ、
女性	50～64歳	風景	風景
女性	50～64歳	風景	風景
女性	65歳以上	風景	風景（山）
女性	65歳以上	風景	風景
女性	65歳以上	風景	風景
—	—	風景	風景
男性	25歳未満	その他特産品	がらがら
男性	25～49歳	その他特産品	バナナ羊羹
男性	25～49歳	その他特産品	刺身こんにやく
女性	25歳未満	その他特産品	英彦山サイダー
女性	50～64歳	その他特産品	コンニャク
女性	50～64歳	その他特産品	シイタケ
—	—	その他特産品	特産品
男性	50～64歳	水	水
男性	65歳以上	水	水
女性	25歳未満	水	水
女性	25～49歳	水	水がきれい
女性	25～49歳	水	水道水が普通に飲める
女性	50～64歳	水	水
女性	65歳以上	水	水
男性	25～49歳	サイクルトライアル	自転車タイムトライル
男性	25～49歳	サイクルトライアル	サイクルトライアル
男性	50～64歳	サイクルトライアル	英彦山サイクルトライアル
女性	50～64歳	サイクルトライアル	あまり思いつくものはないが、全国的にネットなどで知られている「英彦山タイムトライアル」でしょうか。
女性	50～64歳	サイクルトライアル	サイクルトライアル
女性	25～49歳	子育て環境	子どもらしさ
女性	25～49歳	子育て環境	習い事などが無料で参加できること。
女性	25～49歳	子育て環境	子育てに力を入れてくれてて有難い。
女性	25～49歳	子育て環境	子育て支援センターが良い
女性	25～49歳	子育て環境	宮城幼稚園の内容も良くて自慢できます。
男性	25歳未満	川	川がきれい
男性	25歳未満	川	美しい河川
女性	25～49歳	川	今川
女性	25～49歳	川	川
女性	25～49歳	川	川
男性	65歳以上	オークホール	オークホール
女性	25歳未満	オークホール	オークホール
女性	50～64歳	オークホール	オークホール
女性	50～64歳	オークホール	オークホール
男性	50～64歳	歴史・文化	文化
女性	—	歴史・文化	天狗
女性	—	歴史・文化	佐々木小次郎の出身説
女性	50～64歳	歴史・文化	岩石城、英彦山など歴史の古いところがあること
男性	50～64歳	ジビエ	ジビエ肉（加工品）
男性	65歳以上	ジビエ	シカ、イノシシの料理のアピール少ない
女性	50～64歳	ジビエ	猪の肉
男性	25歳未満	社寺仏閣	社寺仏閣

女性	50～64 歳	社寺仏閣	社寺仏閣
女性	65 歳以上	社寺仏閣	社寺仏閣
男性	25～49 歳	人情	住民の人柄
男性	65 歳以上	人情	人情
女性	25 歳未満	人情	人が優しい、挨拶をしてくれる（東京ではありえません）。
男性	65 歳以上	クアハウス	クワハウス
女性	65 歳以上	クアハウス	クアプールがあること
男性	50～64 歳	かけ上がり大会	英彦山かけ上がり大会
女性	—	かけ上がり大会	階段のぼり
女性	50～64 歳	高住神社	高住神社（役行者入滅の地）
女性	—	高住神社	高住神社
女性	50～64 歳	諏訪神社	諏訪神社（古い）
女性	50～64 歳	諏訪神社	諏訪神社（中元寺）
男性	25～49 歳	星空	冬の星空
女性	25 歳未満	星空	夜になると星がきれい。近くに感じる。
男性	25 歳未満	その他	からあげ満天（特産品ではありませんが、最高です）
男性	25～49 歳	その他	広い土地を買い手ができ、のびのび暮らせる町だと思う
男性	25～49 歳	その他	若者定住住宅（ファミリー団地）を町外の人に自慢していましたが、それが無くなり残念。ある意味、もっと若者定住住宅を自慢したい。
男性	25～49 歳	その他	アカザを守る会 ※子どもたちと彦山川を守る
男性	25～49 歳	その他	中元寺薬師堂
男性	50～64 歳	その他	環境
男性	65 歳以上	その他	あれこれではなく、1年に1回、大きなイベントの方が良い。
女性	25 歳未満	その他	ひこちゃん・ゆずちゃん
女性	25 歳未満	その他	楽打ち
女性	25 歳未満	その他	犯罪等が少なく、近所との付き合いも良く、安全な町だと思います
女性	25～49 歳	その他	頑張ってる商売をしているお店の人（昔から続いているお店）
女性	25～49 歳	その他	温泉
女性	25～49 歳	その他	宿
女性	25～49 歳	その他	夏はちょっと涼しい
女性	50～64 歳	その他	手入れされた田畑とその仕事に従事される人々
女性	50～64 歳	その他	風
女性	65 歳以上	その他	子供達が伸び伸びとしている
女性	65 歳以上	その他	特産品は自分達も作っていますが、皆さん頑張っていると思います。
女性	65 歳以上	その他	ダムを美しくする運動（歩こう会）等の手伝い
女性	—	その他	豊前坊
—	—	その他	国定公園に指定されている英彦山へのアクセスが悪い。道の整備が特に悪い。
—	—	その他	先日 TV で英彦山サイダーやカレーは地元で作っていないとありました。何とも思いませんでしたか。私は恥ずかしかったです。
男性	25 歳未満	特になし	ない
男性	25 歳未満	特になし	特になし
男性	25～49 歳	特になし	特になし
男性	25～49 歳	特になし	なし
男性	50～64 歳	特になし	なし
男性	50～64 歳	特になし	特になし
男性	65 歳以上	特になし	特に思い当たらない
男性	65 歳以上	特になし	特になし

男性	65 歳以上	特になし	特になし
男性	—	特になし	別になし
男性	—	特になし	特になし
女性	25 歳未満	特になし	特にない
女性	25 歳未満	特になし	お祭りを縮小されたし、何もなし
女性	25～49 歳	特になし	他所の町は花いっぱいできれいだったり、パン博で賑わっている中、添田町は自慢したいものはありません。
女性	25～49 歳	特になし	自慢するほどのものがない。
女性	25～49 歳	特になし	なし
女性	25～49 歳	特になし	なし
女性	25～49 歳	特になし	特になし
女性	25～49 歳	特になし	思いつかない
女性	50～64 歳	特になし	なし
女性	50～64 歳	特になし	これといって自慢する物がない。
女性	65 歳以上	特になし	よくわからない
女性	65 歳以上	特になし	なし
女性	65 歳以上	特になし	特別にない、大任のように道路わきに花など整備して、色々と人が寄るような場所を作ると良い
女性	65 歳以上	特になし	特になし
—	—	特になし	なし
—	—	特になし	特になし

②問 12 意見一覧

性別	年齢	小見出し	問 12
男性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用
男性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	起業支援、企業誘致
男性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	起業人への支援、企業誘致など
男性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用問題
男性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	町内での就業支援（就業場所の充実）
男性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	働く世代の人口増加に向けた各種の取り組み（起業人も含めて）
男性	50～64 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	働ける場所があればいい
男性	50～64 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	起業支援や企業誘致により町内の雇用を創出する
男性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	起業支援や企業誘致により町内の雇用（老若男女）を創出する
男性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	町営工場（町内の住民なら高齢になっても働けるような）
男性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	生活の安定
男性	—	雇用対策（企業誘致・起業支援）	有力な国会議員がいるうちに企業誘致をする。
男性	—	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致（雇用と人口増加）
女性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	添田町で働いている人の給料を上げる。給料が低いので働きに来る人もいない。1 人が負担する仕事が増えている。
女性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用形態の改善
女性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	有名なデザイナーや有名ベンチャー企業とコラボ。若者取り込む。そのための貯金。未来への投資。
女性	25 歳未満	雇用対策（企業誘致・起業支援）	IT 企業に添田町を売り出し、製品の試作を試してもらったりするなどして IT 先進町にする。
女性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用促進、働く場をつくる
女性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	若い人が添田町に住んでもらえるようにお給料が高くてたくさんの人が働ける場所をたくさんつくる。
女性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致し、雇用を図り、町民の生活の安定を図り、活気ある町づくり
女性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用対策
女性	25～49 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	若者が添田町で働ける環境を作る
女性	50～64 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致、雇用創出
女性	50～64 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致
女性	50～64 歳	雇用対策（企業誘致・起業支援）	これからはネット社会となり、田舎にいても十分活躍できることの良さを生かした取組み
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	今、町外や県外で働いている人達が添田町で働けるようにしてやり、添田町に帰って仕事があるようにしてやりたい。
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	若い人が県外に出なくてもよい働ける企業を受け入れられるといいと思う。
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	若い人が自分で働いて自分で生活をするように働くところを作る。
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	起業支援、企業誘致し、町が潤うことに全力投球する
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	雇用
女性	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業を起こして、若い人が働ける土台を作り人口を増やす。
—	65 歳以上	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致に力を入れる。まず公共性の高い所に着手する。倒産のリスクを回避する。
—	—	雇用対策（企業誘致・起業支援）	過疎が進む中、大手の企業を呼び込む。
—	—	雇用対策（企業誘致・起業支援）	企業誘致
男性	25 歳未満	定住促進・人口増加	若い世帯の移住（人口増加）
男性	25 歳未満	定住促進・人口増加	人口増加
男性	25 歳未満	定住促進・人口増加	婚活、少子化など人口増の事業
男性	25～49 歳	定住促進・人口増加	空家をなくし、古民的活動。
男性	25～49 歳	定住促進・人口増加	添田町に住みたい人のために土地を確保する
男性	25～49 歳	定住促進・人口増加	中途半端になっている子育て世帯の誘致。
男性	50～64 歳	定住促進・人口増加	町民の増加

男性	65歳以上	定住促進・人口増加	住環境の整備を充実させたいと思う
男性	—	定住促進・人口増加	住宅の家賃の改善し誰でもが入れる金額にしていき、町の活性化を図りたい
女性	25歳未満	定住促進・人口増加	人を増やす
女性	25歳未満	定住促進・人口増加	高齢化が進み過ぎているので、高齢者ばかりではなく、若者にもっと注目し、定住してもらえる取り組みを1番にする。
女性	25歳未満	定住促進・人口増加	少子高齢化の改善
女性	25歳未満	定住促進・人口増加	県内で2番目の高齢化率、10年後は人口が減る
女性	25歳未満	定住促進・人口増加	少子高齢化問題、人口減少
女性	25～49歳	定住促進・人口増加	人口を増やすために新築物件を増やす（町外の人が入れるやつ）
女性	25～49歳	定住促進・人口増加	若者にもっと過疎地域に住んでもらえるよう、若者定住を作っていつもみんなが笑っていられるまちづくりをしたい。
女性	25～49歳	定住促進・人口増加	町外からの移住者を増やす。イベント町全体で行い若年層の移住や定住者を増やす。
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	自分達の生活、地域の事に目を向け、皆、元気にくらしている人がいっぱいになるような街に、前のような16,000人がいた時のようになってほしいです。
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	人口流入を促進する
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	あと10年すると人口がわずかになっていそうなので、若夫婦が添田で働き、学校で十分な教育を受けられるための雇用と教育の手厚い支援を行う。
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	人口減少を抑える対策を必死で行う。
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	若い世代の方に添田町に住んでもらう
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	住宅整備（外からの移住者をより増やす）と企業誘致。人口の減少は行政の衰退につながる
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	宅地造成を行い定住者確保
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	若い人達が住みたいと思えるような環境づくり
女性	50～64歳	定住促進・人口増加	町民の減少を防ぐこと。若者だけではなく、元気な高齢者（都市部）も移住の対象として農作物づくり等、興味を持ちそうなものをアピールし、高齢者でも住みやすい環境を整備する。
女性	65歳以上	定住促進・人口増加	住宅の促進
女性	65歳以上	定住促進・人口増加	子育て世帯の援助、応援。独身の方にも家庭の良さを進めたり、若者が喜んで定住したくなるような添田町にしていきたい。
女性	65歳以上	定住促進・人口増加	住宅を建てやすく入居をできるようにし、他町村の若い人たちに課すことから始める。
女性	65歳以上	定住促進・人口増加	10年後は長過ぎですね。せめて5年後には町営住宅の建て替えを実施したいです。
女性	—	定住促進・人口増加	元々長く住んでいる若い人達が住みやすい町づくりに取り組む。（新しく来た人にだけ良くしても、元々づんでいる人に良くしないと出ていかれてプラマイゼロです。）団地めっちゃ汚い。だれも入りたくない（無理）
—	—	定住促進・人口増加	人口増加
男性	25歳未満	観光振興	他の所からもたくさん人が来るような活気ある町にする。豊かな自然を残しつつ、カフェ・レストラン、建造物を増やす。
男性	25～49歳	観光振興	大雨の度に壊れている川の中の小さな橋は吊り橋にして、対岸の河川敷に桜を植えると添田町の中でも賑わいの拠点になりそう。
男性	50～64歳	観光振興	英彦山を中心とした観光で人を集め、農産物や特産物の販売
男性	50～64歳	観光振興	英彦山全体の整備、紅葉、参道、宿坊、食、登山道、遊歩道（宣伝）
男性	65歳以上	観光振興	インバウンドに対応した誘致の施策。

男性	—	観光振興	英彦山一帯への観光客及び持続走の合宿等の人を誘致するため、多目的施設の建築やそれに併設した湧報道やジョギングコースを作成し1日間楽しめる場所を提供して、既存の施設・温泉・道の駅等の活性化を図る。
女性	25歳未満	観光振興	観光客が増えるような取り組み
女性	25歳未満	観光振興	観光したいと思える町にする
女性	25歳未満	観光振興	自然を活かした観光
女性	25～49歳	観光振興	自然を活かしてキャンプ場を作る
女性	25～49歳	観光振興	高齢化が進み、高齢者が増える一方、若者が楽しめるような施設がないため、町全体が老朽化しているように感じるので、大任町みたいにもっと若者が集まるようなまちづくり。
女性	25～49歳	観光振興	それぞれのイベントをもっと盛大にする。
女性	25～49歳	観光振興	彦山をパワースポットとして全国的に有名になり（若者中心、有名人の採用）、インスタ映え（糸島参考）する場所を作り、来訪客を増やす。
女性	25～49歳	観光振興	英彦山を中心にしたい観光地の環境整備
女性	25～49歳	観光振興	JR、西鉄周辺の他自治体と観光ツアーのプランニング
女性	25～49歳	観光振興	イベントの更なる活性化
女性	25～49歳	観光振興	豊かな自然環境を維持し、観光客を多く引き入れて、利益につなげる
女性	25～49歳	観光振興	歴史をもっと大切に。昨今の刀剣ブームは歴史好きにはたまらないもの！ せっかく城があるのに、もっと活用すべき！！ 定期的にコスプレイベントをする。中島家住宅、英彦山神宮、岩石城を自由に開放する。コスプレは外国人にも人気なので集客には持ってこい！何年経ってもアニメは衰退しない
女性	50～64歳	観光振興	添田町の農作物を使って、体の調子を良くする料理や飲料を提供する場所は、人を呼び込むためにしてみたいと思っています。
女性	50～64歳	観光振興	道の整備（英彦山までがカーブが多く道幅狭い）。観光促進には大任を見習うべき（県道沿いは美しい道に、外からのイメージづくり）
女性	50～64歳	観光振興	彦山に食べて遊べる大規模な施設を建設する天候を気にせず遊べる屋内遊技場も、レストランは地元の野菜等使って有名なシェフが腕をふるう、SNSで拡散され町の活性化につながる
女性	50～64歳	観光振興	英彦山の整備、英彦山の霊山としての良さが生かされていない。
女性	65歳以上	観光振興	英彦山に観光客が来訪しもっと良さを知ってもらいたい（日本全国から）
女性	65歳以上	観光振興	JRの運転再開により、イベントや旅行で活気をつけてほしい
女性	65歳以上	観光振興	添田町の特産品をつくり、国内外に販路開拓、拡大する
女性	—	観光振興	唯一町外から人が多く集まるであろうふるさと祭りや夏祭りでもっと多くの出店を出す。まず、町に来てもらうことが第一の町のアピールとなるため。
—	65歳以上	観光振興	ネット環境が整っているので、YouTubeとかを集約してイベントを開催する
—	65歳以上	観光振興	鎧とか揃っているので歴女やインスタ狙いをする。
男性	25歳未満	移動手段の確保・充実	公共機関（乗り物）の充実
男性	25～49歳	移動手段の確保・充実	公共交通の充実
男性	25～49歳	移動手段の確保・充実	交通機関の充実
男性	25～49歳	移動手段の確保・充実	私の子どもは飯塚に通っていますが、土曜日の朝課外授業に間に合う西鉄バスがありません。大変困っています。添田の子が行きたい高校に行けなくなるのはいかがなものでしょうか？私は離婚しており、学校への

			送り迎えは仕事上難しいです。こうした対応に対して取り組みたいです。
男性	25～49歳	移動手段の確保・充実	過疎化しても不便の無い町づくり
男性	25～49歳	移動手段の確保・充実	公共交通の維持及び充実
男性	50～64歳	移動手段の確保・充実	鉄道の複線化
男性	50～64歳	移動手段の確保・充実	北九州をはじめとする福岡市など都市圏との交通の便の拡充
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	路線状況、交通機関の改善・修復。
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	交通の便
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	交通機関の充実
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	公共交通機関の整備
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	交通の便をコミュニティバスなどを活用することでJR（後藤寺駅）などとの接続を良くしたり、補助を出すなどして、現役世代の人口流出を食い止める。
女性	25歳未満	移動手段の確保・充実	乗り合いタクシーを推進して効率の良い交通環境を整える
女性	25～49歳	移動手段の確保・充実	公共交通機関の充実
女性	25～49歳	移動手段の確保・充実	交通の便を良くして、住みやすくしたい。
女性	25～49歳	移動手段の確保・充実	公共交通機関をもっと増やす。
女性	25～49歳	移動手段の確保・充実	公共交通機関の整備（JRに限らず）。車を持っていなくても不自由しない公共交通機関が充実しているといいです。
女性	25～49歳	移動手段の確保・充実	交通の便をよくする（JRなど）。
女性	50～64歳	移動手段の確保・充実	高齢な方の出ていきやすい交通の便を確保する
女性	50～64歳	移動手段の確保・充実	へき地の交通便、今も取り組んでいるだけに難しいでしょうが。
女性	50～64歳	移動手段の確保・充実	治安が良く公共交通機関の便が良く活気のある町づくり
女性	65歳以上	移動手段の確保・充実	交通手段（高齢者の免許返納により交流手段が失われている。乗合タクシーの充実）
女性	65歳以上	移動手段の確保・充実	特に高齢者一人暮らしの方への支援と交通などを配慮する
女性	—	移動手段の確保・充実	お年寄りも多いのもっと交通機関を便利にする。
—	—	移動手段の確保・充実	交通アクセスの整備
—	—	移動手段の確保・充実	交通の利便
男性	25歳未満	教育	教育制度改革
男性	25～49歳	教育	学校教育
男性	25～49歳	教育	教育環境を整える
男性	25～49歳	教育	教育の充実
男性	50～64歳	教育	教育
男性	50～64歳	教育	子どもが勉強しやすい環境作り（添田小学校の建て替え、有能な教職員の配置、サポート体制等）
男性	—	教育	教育に力を入れる。
女性	25歳未満	教育	高齢者の取り組みよりも、子どもたちが満足できる教育ができるようにする。
女性	25～49歳	教育	子どもたちの教育や就職面。幼稚園が無くなると聞きましたが、今後幼稚園に預けたいと思う親は添田町を離れる可能性もあり、今後高齢の人しか残らない可能性もあると思います。真っ先に取り組むべきであると思います。
女性	25～49歳	教育	小学校の合併、小中学校の新校舎建設
女性	25～49歳	教育	小中一貫教育。卒業後も（小6）、中学入学後も、小学校の先生が近くにいる環境は子どもにとっても良いと思う。思春期の子どもを見守れると思うから。
女性	25～49歳	教育	教育
女性	25～49歳	教育	教育
女性	25～49歳	教育	子どもの教育（学校の改修か建替え。トイレが今の子供の体のサイズに合わず小さい、塾、習い事の施設をまとめてつくる）

—	—	教育	教育特区を作り教育町として特化させる
男性	25～49歳	子育て支援	勸遊舎（道の駅）の前の彦山川を水辺公園として整備し、物産館と遊具の間の農園を潰して、子育て支援センター（添田産木材使用）を建設する。
男性	65歳以上	子育て支援	子育てしやすい町づくり
女性	25歳未満	子育て支援	子育てしやすい環境づくり（家賃の高さ、保育所、小中学校が古い、汚い）
女性	25歳未満	子育て支援	子育て対策
女性	25歳未満	子育て支援	子どもが遊べる場所をつくる
女性	25～49歳	子育て支援	子供達の遊び場を充実させる。
女性	25～49歳	子育て支援	子育てしやすい町づくり。
女性	25～49歳	子育て支援	残り1園となった宮城幼稚園の平円を防ぐ。幼稚園があるから住みやすいものもあるし、町外から通っている方もいて、宮城幼稚園は評判が良いから無くさないでほしいです。
女性	25～49歳	子育て支援	町の活性化、子育てしやすい環境
女性	50～64歳	子育て支援	税金だけが高くなり生活しにくくなっている。子育て支援などをもう少し力を入れていく。
女性	—	子育て支援	子育てがしやすい環境づくり、教育費、医療費、保育料の完全無償化
男性	25～49歳	町民参画	高齢者が多く凝り固まった考え方の刷新。
男性	25～49歳	町民参画	悪い部分を取り除き、良きものは残し、新しく良い発想を生み出せるきっかけとなる「添田町民大会議」の開催。ただ、現状での町民の添田町に対する意識の低さでは無理な話なので、まずは郷土愛の向上への取り組みが必要。
男性	50～64歳	町民参画	住民との対話と公正な町政、動くことで色々を知る
男性	50～64歳	町民参画	町民の自立
女性	25～49歳	町民参画	それぞれの世代のニーズを把握し、対策を練る
女性	50～64歳	町民参画	若い人達に町政や政治に興味を持ってもらう
女性	50～64歳	町民参画	3連休を利用して町の行事等に家族で参加できるシステムを作りたい、他の市町村の行事にも参加できる取組を行いたいです。（情報公開になって）
女性	65歳以上	町民参画	若い方の考えをもっと尊重して進めてほしい。
女性	—	町民参画	住民への自分の目指す町づくりの共有
—	—	町民参画	最低、月1回は町民集会を行い町民との場を開き、情報開示を行い、町民の意見を聞き、前回の回答などは必ずする。
男性	25歳未満	行財政改革	若者の住みやすい町をつくるため財政を見直す。
男性	25～49歳	行財政改革	町民税50%カット。
男性	25～49歳	行財政改革	財政の大幅な見直し、不要な支出の削減
男性	50～64歳	行財政改革	人口が減り、税収も少なくなっていく中、適正な税金の用途について取り組みたい
男性	65歳以上	行財政改革	行財政改革
男性	—	行財政改革	効率的な町政運営。
男性	—	行財政改革	ごみ・し尿利用価格改定（下方修正）
女性	25歳未満	行財政改革	税金の使い道を明確にする（分かりやすく）
女性	25～49歳	行財政改革	税金、賃貸を安くして、皆全て、町が活性化でき、不満無く笑顔で暮らせる添田町にしたい！
女性	50～64歳	行財政改革	信頼できる行政、私欲や私情をなくす行政、組活動を充実する
男性	25～49歳	議員・職員改革	役場にとって、ただ何も言えない人には何もしない。強めの口調や入れ墨を見せた人達だけの家の修理や家の周りの改善を進める等はしたくない。
男性	25～49歳	議員・職員改革	町議会議員の質を上げる。
男性	—	議員・職員改革	役場職員の能力向上
女性	25歳未満	議員・職員改革	議員数の削減
女性	25～49歳	議員・職員改革	役場を誰もが行きやすいものにする（雰囲気良くない、行きにくい）

女性	50～64 歳	議員・職員改革	町議、役場の職員等、恥じない人間性教育
女性	—	議員・職員改革	町自体に活気が無い（暗い）ので、活気が出る（有る）町づくり。役場の中は特に暗いイメージで何だか怖いです。
—	—	議員・職員改革	役場の職員を減らしてほしい。役場の職員の態度の悪さを改善させる。
男性	25～49 歳	農林業振興	農林業を発展させる
男性	25～49 歳	農林業振興	農林業の充実
男性	50～64 歳	農林業振興	農林業の活性化
男性	65 歳以上	農林業振興	農産品・加工品の拡大
男性	65 歳以上	農林業振興	林業の特区指定し製材加工全般⇒国内外へ売る
男性	65 歳以上	農林業振興	製材の切屑を利用しキノコの生産（全ての種類）
女性	—	農林業振興	自然を大切にしたい町並みと農業、林業、それによる（健康的な＝無添加など）特産物の開発
男性	25 歳未満	安全・安心	犯罪撲滅
男性	25～49 歳	安全・安心	町長になれると思わないので、真っ先に取り組むことはない。ただ、被災した所など早めに良くしたい。
男性	25～49 歳	安全・安心	安心して豊かに暮らすことが出来る環境
男性	65 歳以上	安全・安心	防衛、防災
女性	25～49 歳	安全・安心	若者の指導、オークホールの前で騒音をまき散らすバイクの取り締まり
女性	65 歳以上	安全・安心	災害に強い町
男性	50～64 歳	高齢者支援	介護・住宅のバリアフリー化
男性	50～64 歳	高齢者支援	高齢者対策（介護など）
男性	65 歳以上	高齢者支援	高齢化に伴う生活環境の整備
女性	50～64 歳	高齢者支援	高齢者の施設に入居させようと考えていますが、定員いっぱいではいけません。親をまず先に安心できる生活を確保してやりたいが一番です。
女性	50～64 歳	高齢者支援	老人問題
女性	65 歳以上	高齢者支援	高齢者が充実した楽しい生活を送れること。
男性	25～49 歳	商業振興	商業施設の充実
男性	25～49 歳	商業振興	商業を発展させる
女性	25～49 歳	商業振興	ドラッグストアなど川崎町や大任町まで行かなくても町内で日用品が揃うなど
女性	25～49 歳	商業振興	観光スポット周辺への商業施設の設置
女性	50～64 歳	商業振興	駅前再開発、温泉宿泊施設、バイク・自転車の関連施設（メンテナンスやレンタル施設）の誘致、これらを総合的に進めていく
男性	65 歳以上	福祉・医療	福祉事業の向上を目指す
女性	25～49 歳	福祉・医療	生活保護、準要保護の不正受給を見直す。受給しながら家を建てたり、新車に変えたり、保険料がタダになるからと他人にも受給を進めたり、最近、峰地スーパーそえだの跡に家を建てたり、したい放題の人たちなどを調べ直して、少しでもまじめに生活している人が住みやすい添田町にする。
女性	50～64 歳	福祉・医療	添田町に病院を建てる。例えば、耳鼻科や眼科、外科など町立病院を作る
女性	65 歳以上	福祉・医療	老健施設と保育園を集合させる
男性	50～64 歳	情報発信	観光や英彦山の自然環境の PR
女性	25 歳未満	情報発信	他の町の人が「添田」という地名をまずは知ってもらう。そのために、自然を活かす、雪を活かす、何でも良い。お金もかからない方法はたくさんある。他の町をマネするのではなく、only one を作らなければインパクトがない。添田には材料が沢山そろっているのに全然生かしていない。一回都会や他の町に出て添田を見直すと添田の素晴らしさに気が付くと思います。（例：星空観察、シカ・猪など動物とのふれあい、斜面を作りソリができる場所（スキー場ではないからお金がかからない）

女性	50～64 歳	情報発信	英彦山を世の中でもっと知っていただくことです
女性	65 歳以上	情報発信	町民に分かりやすい町の取り組みの発信をする。色々なまちづくりに、地域住民だけでなく、町職員、全町民で取り組んで行って欲しい。
男性	50～64 歳	健康促進	町民の健康づくり、スポーツ推進
女性	25～49 歳	健康促進	健康で暮らせる世に
—	25 歳未満	健康促進	若者も高齢者も健康に暮らせるまちづくりに取り組む
男性	25 歳未満	環境美化	きれいなまち
女性	65 歳以上	環境美化	自然豊かな町
女性	65 歳以上	環境美化	町をきれいに
男性	25～49 歳	コンパクトシティー	生活環境を整える。スーパー等、買い物しやすいように。
女性	—	コンパクトシティー	学校、病院、銀行（郵便局）、スーパー等、主要な施設が集中したコンパクトシティーづくり。
男性	25 歳未満	インフラ整備	道路（歩道）の整備、
女性	—	インフラ整備	福岡市まですぐ行けるようにする
女性	25～49 歳	障がい者支援	障がい者が自由に動けたり、介護タクシーなどがいつも利用できるなど
—	—	障がい者支援	身体障害者に対する充実
男性	25 歳未満	その他	人権保護
男性	25～49 歳	その他	全世帯にこのアンケート用紙を送る。（町民 10%の意見では何も変わらない）
男性	25～49 歳	その他	経済全般
男性	25～49 歳	その他	変化する世の中についての勉強
男性	50～64 歳	その他	今は自然に任せ、財政の節約。10 年後、自動運転で空飛ぶ車が普通になり、福岡市まで 1 時間以内になる。添田から福岡市まで行って仕事ができる。よって添田町はベットタウン化へ。財政が良くなる。今は無理をしないこと。どっちみち、財政が良くなったら 2030 年ごろベーシックインカムを入れてほしい。AI 社会、ロボット社会になるのだから、いづれデザイナーペイビーになり、そして、教育は無くし、脳に直接学習させる。SF ではなく、現実になるであろう。
男性	65 歳以上	その他	難しい。高齢者が増え、若者がおらずどうなるか分からない。生活と一緒に先が見えない。私たちもこの世におられるかな。若者の未来に希望を残したいが見当がつかない。
男性	—	その他	情報ネットワークの充実（他社の参入）
女性	25 歳未満	その他	添田地区だけでなく、へき地の素晴らしさに目を向けて振興できるような取り組みを行う。
女性	25～49 歳	その他	昔からの伝統を伝えていけるまちづくり。
女性	25～49 歳	その他	町の活性化
女性	25～49 歳	その他	他の市町村の取り組みとの差別化、ここだけにしかない、住まないと味わえない、などへの取り組み。なぜならば、添田町は地図から名前が無くなると思うから。
女性	50～64 歳	その他	明るい優しいまちづくりをしてみたいです
—	—	その他	町づくり
男性	65 歳以上	特になし・分からない	分からない
女性	25～49 歳	特になし・分からない	分からない
女性	65 歳以上	特になし・分からない	添田町のことを良く知り尽くしていないため、何とも言えません
—	25～49 歳	特になし・分からない	今の所は考えたことはありません
—	—	特になし・分からない	わからない